

黄癬菌、*Achorion schoenleinii* ハ無數ノ分岐セル放線狀ノ菌絲ヨリ成リ其枝條ハ廣狹一樣ナラズ菌絲ヨリ肉叉狀ニ分岐シ其末端ハ膨大シ此膨大部ヨリ側方ニ芽ヲ生ズ其純粹培養ハ殆ンド總テノ培養基ニテ容易ニ且ツ室温ニテ三日乃至四日間ニ發育ス其色初メハ灰白色ニシテ後チ黄色トナル而シテ深部ニ向ツテ發生ス。

「ミクロスポロン、フルフル」*Microsporon furfur* ハ短キ菌絲及ビ無數ノ葡萄狀ニ聚落セル芽胞ヲ以テ特徴トス此純粹培養ハ幾多學者ノ研究セシニ拘ハラズ未ダ以テ正確トスルニ足ルモノナシ。

「ミクロスポロン、ミヌチッスム、トム」*Microsporon minutissimum* ハ最モ前者ニ酷似スルモノナルモ只其菌絲及ビ芽胞ハ微少及ビ柔軟ニシテ前者ノ約三分ノ一ニ過ギズ一見恰モ「コッケン」ノ觀アリ純粹培養ハカルトツフェル寒天、ゲラチン培養基ニ三十七度ニテ發育シ其色ハ赤酒色或ハ褐赤色ヲ呈スト云フ。

以上記載ハ稍簡略ニ過グルモ之ニヨリテ寄生菌ノ大體ヲ知得セバ検査上ノ一助トナルベシ。

皮膚寄生菌ノ検査法ハ從來多數發表セラレタルモ未ダ以テ完全無缺ト言フニ到ラズ、故ニ吾人ハ其日常行フ所ノモノヲ舉グベシ之ニ三法アリ次ノ如シ。

(1) 器械的表皮剝離法。

(2) 薬品の表皮剝離法。

(3) 培養法。

器械的表皮剝離法ハ吾人ノ日常行フ所ノモノニシテ其方法ハ皮膚ノ表面ヲ刀刃ヲ以テ擦過シ其落屑ニ一〇—二〇%苛性鹼汁ヲ加ヘ針ヲ以テ能ク粉碎シ之ヲ乾燥セシメ然ル後メチレン青ニテ染色シ鏡檢スルナリ此法タルヤ最モ簡便ニシテ實施上行ヒ易ク表皮中寄生菌ノ存否ハ檢知スルニ難カラズト雖モ素ヨリ完全ナルモノニアラズ即チ溶液中ニテ破碎セラルルヲ以テ寄生菌ノ表皮層中ニ於ケル分布及ビ發芽ノ狀況ヲ窺知スルヲ得ズ殊ニ治療セシモノニ然リトス此要求ヲ満足セシムルハ第二法ナリ。

薬品の表皮剝離法ハ藥品ヲ以テ表皮ヲ剝離スルノ法ニシテ千八百九十四年ウンナ氏ノ創意ニ係ル其法ハ亞鉛華硬膏ヲ貼布シ膠著後注意シテ之ヲ剝離シ同時ニ剝離シ得タル表皮ノ角質層ヲ鏡檢スルナリ爾來又タ種々ノ方法出デタルモ満足ナル結果ヲ得シモノナシ然ルニ我先輩笹川學士ハ嘗テ「プレストラウニア」ノ日創意セラレタル一新法アリ即チ「チエロイヂン」ヲ患部ニ貼シ之ヲ剝離スルトキハ同時ニ表皮角質層ヲモ剝離シ得ベシト此法ハ簡便ニシテ而カモ常ニ満足ナル成績ヲ得ルハ吾人ノ實驗上遙ニ他法ニ冠タルヲ知ル左ニ此方法ヲ述ベン。

先ヅチ「チエロイヂン」ヲ依的兒ニ成ルベク濃厚ニ溶解シ之ヲ患部ニ塗布スルトキハ須臾ニシテ乾燥シ同時ニ周圍ノ皮膚ヲ牽引シテ癩痕狀ニ收縮ス而シテ之ヲ剝離スルニ當リチ「チエロイヂン」ノ縁ヲ插ミテ剝離ヲ試ムルトキハ破碎牽斷ヲ來タスヲ以テ周圍ノ皮

膚ヲ緊張シツツ剝離スレバ角質層ト共ニ分離シ來ル、此剝離セル皮片ヲ酒精及ビ依的兒ノ等分液中ニ入ルルトキハチエロイヂンハ溶解シ角質片ノミ殘留ス之ヲ載物硝子ニ固著セシメ染色シテ鏡檢スルナリ。

培養法ハ黃癬、白癬、ビエドラ、腋毛菌等ハ先ヅ毛髮或ハ落屑等ヲ適宜普通アルコールニテ消毒シ後滅菌水ニテ充分ニ洗滌シ直接培養基ニ載置スルカ或ハ小乳鉢ニテ良ク磨碎シ之ニ肉汁培養基ノ一二滴ヲ注加シテ其一部分ヲ扁平培養スルヲ便トス。

フインゼン療法、レントゲン放線、ラヂウム療法

器械的或ハ光學的療法ノ如キハ其ノ裝置煩雜ナルト、其價格ノ貴キトニヨリ皮膚病科専門醫ニテモ一般ニ之ヲ施行セシムルコト難シ、況ンヤ其取扱ト應用トニ關シテ多數ノ實驗ヲ經ザル可カラザルニ於テオヤ、單ニX放線ハ皮膚病ニ效アリ、或ハラヂウムハ其效力顯著ナリト云フト雖モ、之ニ關シテハ熱心之ガ研究ト實驗トヲ重ネテ甫メテ好果ヲ收ムルヲ得ルナリ、所謂皮相的ノ觀察ヲ抱イテ之ヲ行フガ如キハ謬レルノ甚ダシキ者ニシテ到底良效ヲ收メ難シ。

フインゼン療法

フインゼン療法

「フインゼン」療法ノ光源、太陽、弧燈

フインゼン療法ノ光源 Die Lichtquellen der Finsen-therapie, 太陽、弧燈 die Sonne, Bogenlicht.

日光ハスペクトルムニ依テ紫、橙、黃、綠、青及ビ赤ニ分ル、今檢温器ヲ赤色線外ニ持テ來タセバ其ノ温度上昇ス、即チ日光ノ吸收ノ爲ニ温トナル光線アルベキナリ、是レ所謂赤外線、或ハ暗黒線 Ultraroten der dunklen Wärmestrahlen ナリ、紫外線ニモ亦此ノ見ル可カラザル光線アリ、寫眞乾板ヲ黒色ニスル即チ化學的作用アル光線存スルナリ、之ヲ紫、外線、Ultra-violette Strahlen ト云フ、此温ノ作用及ビ化學的作用竝ニ吾人ノ光ト感ズル所ノモノハ實ニ全世界ニ充滿スル一ノ「エーテル」Aetherノ運動ニ由來ス、此「エーテル」運動ノ大ナル又徐々タル長キ波ハ赤外線ニテハ温トナリ、紫ニ至ルニ從ヒ漸次其波ノ長サハ短縮シテ遂ニ最短ノ紫外線ニ至リ、高度ニ達スレバ寫眞化學乃至皮膚作用ヲ惹起スルナリ、但シ此作用ハ已ニ赤ヨリ黃色マデハ微弱ニ存ジ、青紫ハ稍々強ク紫外ニ至リ其極點ニ達スルモノナリ、乃チ知ル、光ノ各線ハ各自異ナレル作用ヲ有スルニアラザルコトヲ、然レドモ光ガ或種ノ特有ナル多クノ線ヲ有ストセバ其各線ニ關係アル性質ヲ保有スルベキモ、各線ハ常ニ同様ニ組成シアラズ、又此組成モ之ヲ照ラス物體ノ温度ニ關係ス、即チ照光ノ物體熱キ程愈々化學線ノ大量ヲ出スベシ、色アル物體ハ其色ニ相當スル有色光線ヲ通シ其他ハ吸收ス、然レドモスペクトルムニテ吾人ニ見ヘザル部分ニテ赤外線ハ比

フインゼン療法

較的大ナル侵透力アリ、紫外線ハ之ニ反シ容易ニ吸收セラル、太陽ハ初メ此紫外線ヲ多量ニ有スルモ空氣中ニテ非常ニ吸收セラル、同様ニ玻璃ハ之ヲ通過セシメズ、人工的光線ニシテ太陽光線ニ比スベキモノハ唯短カキ紫外線ヲ有スル電氣弧燈ナラシ、即チ太陽光線ノ利用ニハ玻璃器ヲ使用スルモ弧燈利用ニハ之ヲ用ヒズ水晶器ヲ代用ス、之レハ紫外線ヲ通過セシムレバナリ、

弧燈ヲ光源トシテフインゼン療法ニ應用スルハ太陽光線ニ比シ長キ紫外線ヲ有スルニ因ル、又比較的靑紫線モアリ殊ニ日光ニ比スレバ靑線ハ赤黃線ニ比シテ多量ニ混在スルヲ以テナリ、

太陽及弧燈
ノ皮膚ニ及
ボス作用

太陽及弧燈ノ皮膚ニ及ボス作用 Die Wirkung der Sonne und des Bogenlichtes auf die Haut.

皮膚ヲ強キ日光或ハ電氣弧燈ニ暴露セバ炎衝ヲ起ス、即チ腫張シ高度ニ發赤シ熱シタル皮膚ヲハ日光火傷 Sonnenverbrandト云フモ、之ヲ精査セバ火傷トハ著シキ差異アリ、皮膚ハ熱作用後ニハ赤色ヲ呈シ且ツ熱灼スルモ、日光炎衝性ハ之ニ反シ或時ヲ經テ發起シ十二時間乃至一晝夜後其頂點ニ達シ褐色ノ色素沈著ト血管擴張ヲ遺シテ消失ス、此色素ト血管擴張ハ恰モ皮膚ヲ機械的ニ刺戟セシ如ク往々月餘ニ亘ルモノアリ、此事實ヲ見ルモ熱ノ應用ニ由來スル所ノ火傷トハ其趣キヲ異ニス、太陽性紅斑 Erythema solare

ハ全ク寫真化學的作用ニ因ルモノトセラレシガ千八百八十九年ウキドマルク Widmark 氏ノフインゼン燈ニテ行ヒシ實驗ニヨリテ確固不拔ノ證明ヲ得タリ、其結果ニ由リ(一)濃厚ナラザル光線弧燈ヲ應用スルトキハ靑紫線ハ皮膚炎衝ノ惹起ニハ殆ド關與セズ、若シ強キ炎衝ヲ起サシムベキトキニハ光線ハ可成紫外線ノ多量ヲ含有セザル可カラザルコト明瞭トナレリ、(二)濃厚光線(日光)ヲ利用スルトキハ假令其能力ハ弱クトモ紫外線ノミナラズ靑紫線モ亦特有ノ照光炎衝ヲ起スコトヲ得、(三)日光應用ニテハ赤、黃、綠線ハ效力ナシ、(四)フインゼン燈ノ深部ニ侵徹スル效力 Tiefenwirkungニ關シ化學的ノ線ハ血液ニ富ミタル組織ニハ極メテ侵徹力弱キモ、之ニ反シ血液乏セル組織ニハ容易ナリ、故ニ深部組織ニ働カシメントスルトキハ其皮膚ノ表層ヲ成ベク貧血ニナサザル可カラズ、フロインド Freund 氏ハ靑紫線以外ニ諸光線ヨリノ紫外線中ノ大部分ハ上皮ヲ通過スルモノニシテ既定ノ紫外線ノ三分ノ一ハ然リト云ヘリ、

化學線ノ組織的作用ニ關シテハメルレル Moiler 氏之ヲ研究セリ、其結果ニ據レバ血管擴張、上皮ノ浸潤、異狀角質形成 Parakeratose、細胞萎縮アリ、其作用強キトキハ纖維素性細胞ニ富ミタル滲出物中ニ赤血球アリ、其他膠様上皮ノ膨張、上皮ノ水疱性隆起ト皮膚血管ノ栓塞等アリ、

此寫真化學的作用ノ他、光線中ニアル熱線、赤外線、赤、黃、綠ノ爲ニ光線濃厚ナル際熱作用 Hitzewirkungニ因スル火傷ヲ來タスコトアリ、此火傷ハ治療應用上愉快ナル隨伴作

用ニシテ健康竝ニ病的組織モ共ニ結痂シ、上層ノ凝結ハ化學線ノ通過ヲ障害スルモノナリ、故ニフインゼン療法ニテハ此火傷ヲ避クル方法ノ設ケアリ。

光線ノ殺菌力及ビ皮膚ニ附著セル細菌ノ撲滅利用法ハ頗ル推賞スルニ足ル、ピーニ氏ハ「スベクトルム」ノ各線ニ就テ殺菌力ヲ測定シ其效力ノ四%ハ赤、黄、綠線ニ歸シ其ノ九%ハ青、紫、紫外線ニアルコトヲ知レリ。

ヤンゼン Jansen 氏モ亦之ヲ研究シ、濃厚ナル電氣光線ハ一、五 m.m ノ深サマデハ殺菌シ、四 m.m ノ深サマデハ菌ヲ減弱セシムルコトヲ知レリ、此作用ハ内方紫外線ト青紫線ニ歸スベク、外方紫外線ハ直接皮膚下ノ細菌ヲ殺滅スルモノナリト、然レドモクリングミュレル Kingmüller ハルベルステッテル Halberstädter 氏ノ研究ニ據レバ此光線ノ殺菌力ハ狼瘡ニハ見ルベキモノナシト云フ、然ルニ千八百九十六年フインゼン氏ハ「一」特有ノ炎衝ヲ皮膚ニ起シ「二」皮膚内ニ侵徹シ「三」細菌ヲ滅殺シ得ル三點ヨリ細菌的皮膚病殊ニ狼瘡ニ此化學的光線ヲ用ヒテ治療セシメ得ルコトヲ稱道セリ。

多數ノ學者ハ、此光線ニヨリ惹起セラルル強度ノ充血ニ由來スル炎衝アルヲ以テ從テ病的組織ヲシテ續發的ニ變質セシムル作用ヲ有スルナラントノ點ヲ重要視シタリ、尙直接ノ作用ハ刺戟ニシテ該作用ハ恐ラク元來肉芽組織ニ變ズル傾向少キモノヲシテ結組織或ハ癩痕形成ヲ營マシムルモノナラン、現今ニ於テハ直接作用ハ健康組織ヲ比較的犯スコトナクシテ、病的原素タル細胞ヲ殺滅スベキ過剩刺戟ニ在リトノ說ニ一致セリ。

フインゼン
燈及ビ其應
用法

日光ノ照射

セリ。

フインゼン燈及ビ其應用法 Die Finsenapparat und die

Methode ihrer Anwendung

一、日光ノ照射 Die Bestrahlung mit Sonnenlicht.

フインゼン氏ハ成ベク強力ノ光線ヲ得ントシテ日光ヲ濃縮セント企テタリ、然レドモ光線ヲ強カラシムレバ過剩ノ熱ヲ生ズルヲ以テ同時ニ之ヲ可及的減少セント試メリ爰ニ於テ氏ハ二〇—三〇 cm 徑ノ凸突鏡ヲ以テ太陽ヨリ平行ニ落下スル光線ヲ一燒點ニ集ムルノ法ヲ講ゼリ、此「レンス」ハ其作用ヲ障害セズ、又空氣ノ如ク紫外線ヲ遮ギラザル玻璃ヲ以テセリ。

赤外線ナル熱線ヲ防グ爲メ、レンズノ腔洞ニ蒸餾水ヲ滿タシ以テ赤外線ヲ吸收セシメタリ、即チ「スベクトルム」ノ見ルベキ各線及ビ紫外線ハ此「レンス」ヨリ照射ス、レンスハ廻轉自由ナル脚札ニ取附ケタルナリ。

血液充滿セル組織ハ化學光線ヲ吸收スルガ故ニ、病竈ハ豫メ血液ナキ様ニ加壓ス、此加壓器ニハ冷却装置ヲ施シ熱感(赤線、黄線)ヲ冷感ニテ代償セシム、之ニ用ユル装置ニハ小ナル壓定器アリ、此器ハ凸板及ビ平板ヨリ成リ其間ニ常ニ冷水ヲ交流セシム、患者ハ眼ヲ布ニテ蔽ヒ看護婦ハ黒眼鏡ヲ用ニ、病竈ノ結痂ヲ剝離シテ凸板ヲ其病竈ニ平等ニ壓

定ス、光線ハ皮膚ニ直角ニ當リ其ノ燒點ヨリ稍々内方ニ小サキ光圓トシテ照射スル如クス、此照射ハ少ナクトモ一回ニ一時間ヲ要シ毎日二cm徑ノ皮膚ヲ照射ス、部位ハ病竈ノ周圍ヨリ始ム。

病竈ノ所在ニ從ヒ其壓定器ニ諸種ノ形狀アリ、疼痛ハ皆無ニシテ唯壓感ノ煩累アルノミ、治療後時ニ褥腐繃帶ヲ要スルコトアリ、八乃至十五日後ニ至リ反應、腫脹、痂皮等消失セバ更ニ新タニ療法ヲ反復ス可シ。

弧燈照射

一、弧燈照射 Die Bestrahlung mit Bogenlicht

弧燈ノ紫外線ノ波ハ日光ヨリ長キヲ以テ其ノ化學的作用強キガ故ニ、光線トシテ之ヲ撰擇セルナリ。

大フインセン燈ハ平流電氣ニテ六〇アムペール、六五ボルトヲ要ス、而シテ左記二項ノ性狀必要ナリ。

- (一) 弧燈ヨリ光線放散スルヲ以テ之ヲ強ク濃縮スルノ要アリ、之レニハ四個ノ平凸板「レンス」ヲ用ヒ其二個ハ光線ニ向ヒ集光ヲ散光シ次ノ二個ハ平行光線ヲ集光ス、一ト二ノ「レンス」ニテ一二cm第三ト第四ハ一〇cmノ燒點アリ。
- (二) 弧燈ノ熱線ヲ無害トスル爲メ三様ノ装置ヲ備フ。
 - (a) 光線ヲ充分利用スル爲ニ「レンス」ヲ成ベク光線ニ近ク置カザル可カラズ、然レドモ破裂ノ危險アルヲ以テ「レンズ」ハ平板間トニ水ヲ滿タセル箱アリ常ニ交流ノ冷水ヲ以テ之ヲ冷却ス。
 - (b) 弧燈ヨリ放射スル熱ヲ防グ爲メ望遠鏡ハ同様ニ二ツノ伸縮自在ノ圓筒ニ装置シ以テ燒點ノ弧燈ヨリ遠ザカル様ニセリ。
 - (c) 皮膚ノ熱ノ灼熱作用ヲ減ズル爲メ第一ト第二「レンズ」トノ間及ビ第三ト第四「レンズ」トノ間ニ水槽ヲ設ケ煮沸セル蒸餾水ヲ滿シアリ。

弧燈ノ紫外線

三、弧燈ノ紫外線

紫外線ハ玻璃ノ爲ニ吸收セララルヲ以テ此「レンズ」ノ全部ト皮膚壓定玻璃ハ水晶ヲ以テ代用ス、水晶鏡ナレバ八cm徑ヲ用ユ。

弧燈ノ周圍ニハ此望遠鏡ニ類似セル機械ヲ四個取附ケ同時ニ四人ノ患者ニ施術シ得ル如ク装置セリ、然レドモ大規模ナルト廉價ナラザルヲ以テ、同一理由ノ下ニ製作サレタルフインゼンライン燈 Finsen-Reyn Apparat ナルモノ市場ニ販賣セラル、大フインゼン燈ト異ナルノ點ハ短小ニシテ以テ光線熱ヲ少ナクシ又フレスネル Frensel「レンス」ハ普通ノ集光「レンス」ヨリ光線ヲ善ク平等ニ集ムルヲ以テ之ヲ装置シアリ、本器ニハ巧妙ナル装置トシテハ看護人ヲ使用セザル爲メ自働ノ壓定装置ヲ施シタルモノアリ。

フィンゼン療法ノ適應症

第一ニ舉グルモノハ尋常性狼瘡ナリコッペンハーゲンノ業績ニ徴スレバ本症ノ三二%ハ全治シ、少クトモ二年間再發ヲ見ズ、且ツ美貌上ノ成績好良、無痛ナルコト、不快ノ副作用ナキコト等ヲ特有ノ點トス、然レドモ遺憾ナルハ器械ノ高價ナルト、技術的介補者ヲ要スルコト、及ビ其治療ヲ年餘モ持續セザルベカラザル不便ノ點ナリ。

此療法ニ適スルモノハ皮膚ノ扁平狼瘡、口唇及ビ眼瞼粘膜ノ狼瘡ナリ、本療法ト同時ニ腐蝕法ヲ行フトキハ其治療日數ヲ短縮セシム、其他裝置ヲ單簡ニシ廉價ニ販賣セラルル Loret, Genoud ノ器械アルモ本器ノ如ク有效ナラズ、又、Bang 氏燈、Streiber 氏燈ノ如キ鐵弧燈ハ紫外線ニ富ミ唯表在性ノ者ニ效力アルモ深部ニハ及バズ、フィンゼン燈ハ其他紅斑性狼瘡、圓形禿髮、血管性母斑、酒渣、瘰癧等ニモ亦效アリ。

レントゲン放線

レントゲン放線ノ成立及其本性

レントゲン放線 Röntgenstrahlen.

レントゲン放線ノ成立及其本性 Ueber Entstehung und die Natur der Röntgenstrahlen

千八百九十五年十月レントゲン Röntgen 氏ニヨリ發表セラレタリ、即チ弱キ電力ノ高壓電流ヲ空虛ノ玻璃管ヲ通ゼシムルトキハ管内ノ空氣稀釋ノ度ニ從ヒ種々ノ光線現

象ヲ呈ス、氣壓ノ百萬分一ノ空氣稀釋度ナレバ光線ハ殆ド見ル可カラザル青色光線ヲ陰極ヨリ陽極ニ發ス、是レ陰極光線 Kathodenstrahlen ニシテ陰極ヨリ垂直ニ發シ容易ニ磁石ノ如ク屈曲シテ容易ニ吸收ス、其ノ線ニ對スル玻璃壁ハ其部位ニ從ヒ綠色、青色ヲ呈シ遂ニ其ノ化學的化合ヲ分解スルモノナリ、空氣ノ稀釋ヲ尙一層甚シクセシムレバ爰ニ青色ノ消極光線ハ消失シテ其ノ綠青色等ヲ放射セシ部ニハ吾人ノ眼ニ見ルヲ得ザル新光線ヲ發生ス、此光線ノ性質ハ未ダ闡明セラレズ、是レX放線即チ發見者ノ名譽ヲ尊重シテレントゲン線ト名ケラレシモノナリ、此光線ハ或物體ヲ特有ニ照射スルモノニシテ、兼テ又寫眞乾板ニ影響スルモノナリ。

此寫眞線ノ外ニ非常ニ大ナル透徹力ヲ有ス、此透徹力ハ彼ノ螢光力 Fluoreszenzregungト寫眞乾板ニ働ク作用ト共ニ診斷上ノ成績、即チレントゲン映射 Röntgendurchleuchtung 及ビ撮影 Röntgen-Aufnahme ニ利用セラルルナリ、然レドモ其容易ニ吸收セラルル所ハ消極光線トハ全ク別物ナリ、但シ治療上ノ意味ニ於テハレントゲン線ト消極線トハ同一ナリ、レントゲン線ト消極線トハ其ニ皮膚ニ生物學的反應ヲ惹起スル點ニ於テ同一ナレドモ消極線ハ其侵透力ノ微弱ナル爲メ實用ニ適セズ、レントゲン線ノ本態ハ現今唯消極線ノ夫レト同様ニ説明セラル、光線ノ速力トレントゲン線速力トハ同一ナリ。

皮膚ニ働クレントゲン放線

皮膚ニ働クレントゲン放線 Die Einwirkung der Röntgenstrahlen auf die Haut.

レントゲン放線ノ皮膚ニ働ク作用ヲ實驗セラレタルハフロイノド Freund 氏ニシテ氏ノ千八百九十六年之ヲ有毛母斑ニ試用シテ其脱毛ヲ企テタルヲ嚆矢トス、次テ此放線ヲ健康ノ皮膚及ビ新生物ノ細胞ニ働カシメテ持續的充血ヲ起シ、以テ持久ノ炎衝ヲ惹起スルニ基ヅキ大ニ之ヲ利用スルニ至レリ。

組織ノ反應ハ直チニ發起セズ、或潛伏期ヲ以テ甫メテ發來ス、其放射ハ時間及ビ強度ニヨリ反應ニ強弱アリ、本放線ニハ蓄積作用 *accumulative Wirkung* アルコトヲ忘ル可カラズ、縱令少量ノ放射ニテモ之ヲ反復スレバ速カニ劇シキ反應ヲ起コスコトアリ、又皮膚ハ少量ノ放射ニテ強ク反應スル傾向ヲ長ク享有スルモノナリ。

放線ノ爲ニ起ル皮膚ノ變化ハ、急性ト慢性トニ區別セザル可カラズ、而シテ急性變化ハ大畧四度ニ別ツ

- 第一度。 潛伏期ハ約一週間、炎衝ナク變性ス、其結果ハ上皮剝離、脱毛、病的組織ノ吸收ニシテ其轉歸トシテ器質缺損ナシ。
 - 第二度。 潛伏期約二週間、炎衝アルモ水泡ヲ形成セズ、轉歸トシテ癩痕形成ナシ。
 - 第三度。 潛伏期約一週間、水泡形成ヲ伴ヒ、表皮剝脱及ビ浸潤アリ、何等器質缺損ナシ、轉歸ハ後日ニ至リ萎縮ヲ來タス。
 - 第四度。 潛伏期約半週、炎衝ト共ニ壞疽ヲ來タシ、癩痕形成アリ。
- 治療上ニハ第一乃至第二度ヲ見ルコト多ク、第三第四ハ稀ナリ。

又放射數時間後早クモ紅斑ヲ呈スルモノアリ、所謂早期反應、ニシテ數日間持續ス、是レ全ク血管系統ノ特有ナル感應トス、皮膚腫脹、色素沈著、毛髮ノ抜ケ易キコト竝ニ瘙癢、灼熱緊脹等ハヤガテ來ルベキ反應ノ前驅タリ。

皮膚ノ永久變化トシテハ輕度ノ癩痕ト共ニ鞏皮様及ビ血管擴張ヲ伴ヘル皮膚萎縮ナリ、皮膚炎劇烈ナレバ其結果ハ愈々甚シ、此組織的變化ヲ檢索スレバ細胞障害竝ニ炎衝性浮腫ナリ、殊ニ皮膚ノ細胞著明ニ犯サレ、就中棘狀細胞、毛囊細胞最モ早ク犯サル、結締織、彈力組織及ビ筋肉ハ續發的ナリ、劇烈ナル急性ノ際ハ先ヅ血管内壁細胞ノ真空様變性ヲ來ス。

慢性變化ハ弱度ノ放射及ビ中等度ノ放射持續ニ依リ漸次ニ發スルモノニシテ全ク異ナレル症狀ヲ呈ス、即チ發赤、腫脹、瀰蔓性局處性增殖殊ニ疣贅、硬皮等トス、增殖ノ結果トシテハ皸裂アリ、又毛、爪ノ變性、血管擴張、萎縮、腺ノ分泌減弱、貧血性潰瘍、鞏皮様硬皮、癌腫様變化等アリ。

組織的ニハ原發的血管ノ障害及ビ浮腫等ヲ見ズ、臨牀上ニ一致適應シタル組織的變化ヲ認メラレズ、上皮ハ屢々犯カサル如ク内臟中辜丸ノ上皮、卵巢ノ濾胞ハ殊ニ感應シ易シ、又特ニ普通增殖ノ上皮ヲ犯カス、淋巴細胞ハ容易ニ且速カニ反應スト云フ、此普通若キ成育スル又異常發育ノ細胞ニ及ボス影響ヲ是等ノ細胞中ニ多量ニ含有スルレチチン、Lecithinノ變化ニ歸セントセリ。

放線ハ最モ皮膚ノ深部ヲ犯カス作用アリ、硬キレントゲン管ナレバ2cmニ達ス、殊ニ感
 應シ易キ臓器ニハ其影響一層大ナリ、殺菌作用ハ實ニ僅微ナリ。
 新陳代謝ニモ變化ヲ來タスコトアルベシトノ想像ハ白血病ニ就テ證明セララル所ナ
 リ、皮膚ノ知覺神經末端器官ニ影響アルコトハ搔痒及ビ疼痛制止作用アルコトニヨリ
 知ルヲ得ベシ。

レントゲン放線ノ測定 Messungen der Röntgenstrahlung ハ左記ノ方法ニ據ル。

(一) 直接放線ノ作用ヲ測定スルナリ direkte Messmethode

(イ) ホルツクネヒト氏ノクロモラデオメーター、Chromoradiometerヲ以テ放線ノ化學的
 作用ノ度合ニヨリ測定スルナリ、若シ或鹽類ニ作用スレバ之ヲ脱色セシムルヲ以テ
 此理ヲ應用セルナリ、即チ其照光セラルル試験物體ノ脱色ノ度ヲ一定ノ尺度ト比較
 スルニアリ。

此法ハ硬度ヲ注意セズ又色ノ階級ハ實際上區別困難ノコトアル不利アリ。

(ロ) フロイド氏法ハ同上ノ理由ニヨリ2%沃度仿謨、クロロフォルム液ノ變色ニテ測
 定ス。

此法ノ不利ハ同上ナリ、試験液ヲ毎回暗所ニテ新タニ製セザル可カラズ。

(ハ) サブロー氏法ハベリウムブラチンチアン化合物ノ變色ニヨリ測定ス、被檢體ノ半
 距離ニ管ニ近接シ以テ不十分ナル尺度ト比較スルニアリ。

此法ノ不利ナル點ハ硬度ヲ顧慮セザルト、尺度ノ少數ナルト、管ノ熱放線ガ試験藥ヲ
 變化セシムルニアリ。

(ニ) キーンバック定量計 Quantimeter ハ寫真藥ニ作用セシメ測定スルナリ、其ヲ暗室ニ
 テ現像シ直チニ其度ヲ比較尺度ニテ測定スルニアリ。

此法ノ不利ハ施術中ニ寫真ノ黑變スルコトナリ、又現像ヲ速カニセザルベカラズシ
 テ甚ダ煩累アリ。

且ツ此直接測定法ニ附隨シテ化學的ト放線ノ生物的作用ト全然一致セザルノ不利アリ、
 (二) 間接測定法

(イ) 螢光ノ強弱如何等ニ據ルハ唯止ムヲ得ザル際ノミ。

(ロ) ケーレル氏法ハレントゲン管ノ放射間ニ起セシ溫度ヲ測定スルニアリ、此法ノ不
 利ハ各管ニ就テ其熱スル定量ヲ特別ニ行ハザル可カラザルニアリ、何トナレバ熱ハ
 獨リレントゲン放線ノミナラズ亦陰極光ヨリモ出ヅレバナリ。

(ハ) ミリアムペールメーター法トハ硬度測定ト連繫ス、火光ノ長サ(硬度計)等ヲ用ユ。

レントゲン放線ノ強サハレントゲン管ニ働キシ電流ノ強サニ比例ス、此電流ノ強サハ
 第二電流環ニ附著セル「ミリアムペール」計ニテ測リ放線ノ性質ハ硬度計ニテ測ルナリ。

取扱法 Methode der Behandlung

直接測定法ヲ利用スルトキハ所要ノ化學的作用ヲ呈スルマデ放射セシムベク、其ノ不利ノ點ハ他ノ注意規則ヲ參酌シテ應用スベシ。
此法ハ第一ニ其放射時間ニ關ス、一ノ管ニハ或要約ノ下ニ或硬度ヲ徑路ニ從ヒ定ムベシ。

第二電流系ニ、ミリアムペールヲ附着シテ確實ニ同要約ニ保持セシム。
或管ニ定メタル生理的作用ヲ働カシタル後ハ一回或ハ數回行フモ同様ナルヲ以テ適宜二週乃至數週間中止シ以テ反應發生ノ有無若シクハ經過ヲ俟ツベシ、其多少ハ電流ノ量ヲ精査シテ左右セラル。

放射時間 Sitzungsdauer 管ノ距離 Röhrenabstand 管ノ部位ニ對スル位置 Stellung der Röhre zum Objekt (實際ニハ陰極ノ頭ガ病竈ニ平行スル如クス)ハ常ニ一定スベシ。

硬度 Hartegrad ノ判定ニハ種々ノ方法アリ其ノ大體ヲ一表トセバ左ノ如シ。
一般ニ中等度ノ軟カキ管ヲ治療上ニ應用スレドモ深部ニ在ル病竈ニ對シテハ硬キ管ヲ撰定ス。

名	硬	中	度	軟	軟	高	度	軟
管ノ周圍ニ呈スル現象	電流ノ爲メニ房ノ形ニテ放射ス時ニハ四花ノ管周圍ニ飛散スルヲ見	房狀ノ放電ハ僅少ナリ	-	-	-	-	-	-

適應症

四、適應症 Indikationen

健康皮膚ニハ上皮、血管内皮及ビ内臟ニテハ淋巴性組織等殊ニ容易ニ影響ヲ受ク、舉凡卵巢等ノ障害モ亦甚シキヲ以テ大ニ注意ヲ要ス、病的増殖性組織細胞ニ働カシムル際ニハ、其周圍ノ健康組織ヲ毀損セザルコトニ注意シ、又知覺神經末端器官ノ影響ヲモ考慮スベシ。

管ノ周圍ニ呈スル現象	管ノ周圍ニ呈スル現象	管ノ周圍ニ呈スル現象	管ノ周圍ニ呈スル現象
管ノ周圍ニ呈スル現象	管ノ周圍ニ呈スル現象	管ノ周圍ニ呈スル現象	管ノ周圍ニ呈スル現象

一、皮膚ノ濾胞ガ殊ニ犯サレタル疾病(濾胞細胞ノ刺戟及ビ變性)

圓形禿髮 Areata 之ハ刺戟ス、故ニ其量低キヲ用ユ、從テ其成績不確實ナリ。
毛ノ増殖 Hypertrichosis 硬キ管ヲ用ヒ小量ニテ反復スルヲ可トス、注意セザレバ後ニ至リ消削、血管擴張ヲ惹起スル危険アリ。

毛癬、白癬、黃癬 Sykosis, Trichophytie, Favus 殺菌作用ヲ有セズ、唯脱毛的ニ働クナリ、本症ニハ成績最モ良好ナリ。

瘰癧、癩ノ癬 Akne, Furunculosis, nuchae 此結果ハ不確實ナリ。
蟹狀腫 Dermatitis papillaris Capilliti(Akne Keloid) 成績ハ區々ナリ。

多汗症 Hyperhidrosis 適度ノ量ヲ以テ治療ヲ持長セバ效アリ。

二、上皮ノ甚シキ影響ヲ受クル炎衝性疾病 Entzündliche Erkrankungen der Haut mit starkes

Epithelaffektion

濕疹 Ekzema 殊ニ慢性ニ適シ痒痒輕減ノ效アリ。

乾癬 Psoriasis 硬キ管ヲ用ユ、紅斑ヲ避クルコトト竝ニ一時性ノ好果アリ、膏藥療法ニ比スレバ非常ニ便利ナリ。

扁平赤色苔癬 Lichen ruber planus 成績不確實ナリ、痒痒輕減ノ爲メ他ノ療法ト併用スルヲ可トス。

三、新生物 Neubildungen

特種性疣贅 Verruca disseminatae 表皮ノ剝脱スルマデ反應ヲ起サシムルコト必要ナリ、再發ナキニアラズ。

圓形潰瘍(上皮癌) Ulcus rodens, Cancroid 成績確實ニシテ其統計ハ大部分即チ九五%ノ持續的治癒アリ、無痛療法ナリ。

深蝕性癌 Tiefgreifende Karzinome 手術不可能ノ際之ヲ行フ、腫瘍ノ一部分ハ縮小シ、或ハ又潰瘍ノ一時性癩痕形成アリ、然レドモ皮下及ビ内臓ノ腫瘍ニハ效ナシ、疼痛緩解ノ效アリ、手術後ノ放射ハ推賞セラル。

皮膚ノ肉腫 Sarkom der Haut 軟性肉腫ニ效アリ、硬性紡錘細胞肉腫ニハ稀レニ效アルヲ見ルノミ。

深在ノ肉腫 Tieflegend: Sarkome 手術不可能ノ場合ニ之ヲ行フ、多クハ縮小ノ效ヲ呈ス、手術後ノ放射推賞セラル。

菌狀息肉症 Mykosis fungoides 一部分良好ノ成績アルモ新生スル腫瘍ヲ防禦スルコト能ハズ。

尋常性狼瘡 Lupus vulgaris フォインゼン療法ト異ナリ殊ニ結節性、増殖性、潰瘍性ノモノニ效アリ、完全ノ治癒モ亦期待セラル、或ハ又二年以上其再發ヲ見ザルコトアリ又粘膜ノ狼瘡ニモ行フコトヲ得ベシ、壞疽ヲ起サザル様間過的ニ持續施行スルコト必要ニシテ殊ニ他療法ト併用スルヲ佳トス。

- 紅斑性狼瘡 Lupus erythematosus 結果不確實ナリ。
- 血管腫血管性母斑 Angiom, Naevus teleangiectales 效ナシ。
- 攝腺肥大 Prostatihypertrophie 實質性肥大ニハ大ニ利用ノ價值アリ。
- 四 疼痛或ハ痒痒 Schmerzende und juckende Zustände.
手術不可能ナル腫瘍 Inoperable Tumoren. 疼痛輕減ハ一時的ナリ。
痒痒症痒疹 Pruritis, Prurigo 痒痒輕減ノ作用ハ一時的ナリ。
- 五 淋巴系ノ疾病 Krankhafte Zustände des lymphatischen Systems.
白血病 Leukämie 多數ノ可良ナル成績アリ、全身狀態良好トナル。
假性白血病 Pseudo-leukämie 時トシテ對症的好成績アリ。

三 「ラヂウム」療法 Die Behandlung mit Radium

「ラヂウム」療法
發見及ビ其
理學的性質

一、發見及ビ其理學的性質 Entdeckung und physikalische Eigenschaften des Radiums

千八百九十六年ヘンリー・ベツキュレル Henri Becquerel 氏ハ日光中ノ「ウランカリウムズルファト」 Uraniumsulfat ハ螢光ヲ出ス作用アルト同時ニ物體ヲ侵徹スル力アルコトヲ確認シ、又「ウラン」鹽類ハ螢光作用ナクモ侵徹作用アルコトヲ知レリ、「ウラン」或ハ

其ノ化合物ヨリハ化學的ニ働ク所ノ見ルベカラザル侵徹能力アル光線ノ放射セララルルナリ、此光線ヲ其發見者ノ名譽ノ爲ニベツキュレル線ト名ケ、其ノ放射スル物質ヲ放射能作 Radioaktivität 云ヒ、更ニ又酸化「ウラン」ノ一種ハ此放射能作ノ幾倍ヲ有スルコトヲ知ルニ至レリ、此ノ如キ強キ放射能作ハ獨リ「ウラン」ニノミ存スルノミニアラズ、千八百九十八年キユリース、コッポドスカ夫人ハ「ポロニウム」 Polonium ニモ多量ニ之ヲ含有スルコトヲ知り、其後遂ニ酸化「ウラン」ヨリ一元素ヲ發見シテ「ラヂウム」 Radium ト命名セリ、「ラヂウム」ヨリ放射スル放射線ハレントゲン線ノ如キ屈折ヲ證明シ得ズト雖モレントゲン線ノ如ク侵徹シ、寫真乾板ニ作用シ、且ツ空氣ヲ電氣導體ナラシム、之ニ反シ磁石ニハ一部分トハ云ヘ屈曲シ大部分ハ積極電流ノ方ニ僅カニ牽引セラル、此部分ヲ放射線ト云ヒ其侵徹力ノ少ナキヲ特有トス、他部分即チ α 線ハ之ニ反シ β 線ノ反對方向即チ消極電流ニ強ク牽引セラレ且ツ強キ侵徹力ヲ有ス、第三線ヲ γ 線トス之ハ磁力ニ感應セズ其侵徹力最モ強大ニシテ厚キ鉛ヲモ侵徹ス。

或物體ヲ一時放射能作アル物質ノ附近ニ置ケバ其物體ハ亦放射能作ヲ得、然レドモ此產生的放射能作 induzierte Radioaktivität ハ消散スルモノナレバ從テ基原 Primäre 放射能作トハ別種ノモノナラザル可カラズ、此產生放射能作ハ基原放射能作ヨリ出ヅル瓦斯體ガ物體上ニ沈著シタルモノナルコト疑ヲ容レズ、此基原放射能作アル物體ヨリ絶ヘズ其固有ノ放射線ト共ニ發生スル瓦斯放射ヲバ發見者ルーテラホルド Rutherford 氏ハ「エ

マナチオン」Emanationト名ケタリ。
 「ラヂウム」放射線ハ眞直ニ非常ナル速力ニテ放射線源ヨリ放射セラルルモ、エマナチオンハ比較的遅緩ニ滲透性瓦斯トシテ蔓延ス、エマナチオンハ氣孔アル物質ヲ通ジテ擴ガリ、瓦斯ト共ニ働キ又管ヨリモ導キ得ラル、放射線ノ如ク寫眞板ニ作用シ空氣ヲ電氣ニ向テ導體ナラシム、故ニ産出性ノ放射能作物體ナリ。
 エマナチオンハ不定ノ瓦斯ニシテ分解シテ遂ニ「ヘリウム」Heliumニ移行ス、即チ一時性ノ産出放射能作ナリ。

一、皮膚ニ働ク「ラヂウム」ノ生物學的作用 Die

biologische Wirkung der Radiums auf die Haut.

ラヂウムノ皮膚ニ及ボス作用ニ關スル研究ハ、大部分ハ化學的純粹ノ臭素「ラヂウム」Radiumbromidニ由テ行ハル、即チ臭素「ラヂウム」ヲ、外部ヲ薄キ雲母板ニテ包藏セル護膜カプセル中ニ入レ之ヲ使用スルナリ。
 此「カプセル」ヨリβ、γ線ハ放射シ、α線ハ雲母板ニテ吸收セラル、此方法ニテハ「エマナチオン」ノ發散スルコト少ナシ、強キ原料ナレバ之ヲ働カシムルコト四五分間ニシテ既ニ二三週後ニ脱毛ヲ惹起セシムルヲ得ベク、五―十分働カシムレバ紅斑ヲ起ス、然レドモ斯カル程度ノモノハ再ビ自然ニ消散ヲ見ルモノナリ、十分―十五分働カシムレバ炎衝、

皮膚ニ働ク「ラヂウム」ノ生物學的作用

水泡形成ヲ起シテ輕度ノ消削ヲ遺シ、二十分―三十分ナレバ組織ノ壞死ヲ來タシ結締織ニ及ビ滑澤ニシテ軟癩痕ヲ作り遂ニ血管擴張ヲ來ス、之ヲ放射セシメタル後ニ其ノ前驅反應アリテ蓋微色著色ヲ放射局部ニ起ス、二時間放射後其部ヲ切除シテ組織的ニ研索セバ血管擴張シ血管壁ニ白血球アリ、放射翌日ノモノニハ組織ニ白血球増加アリ、一時間半放射セルモノヲ十日後ニ見レバ結締織細胞、血管壁及ビ上皮ニハ眞皮ノ壞疽及ビ細胞核分解、毛細管壁ノ壞疽、上皮ノ破壊ト同時ニ多核白血球ノ著シキ浸潤アリ、上皮ハ初ノ細胞ノ大サヲ増シ細胞ニ空隙ヲ生ジ多核白血球ノ侵入アリ、遂ニ細胞ハ破壊セラル。

ハルキン Halkin 及ビストラスマン Strassmann 氏ハ血管内壁ノ上皮細胞第一ニ犯サルルト云ヘリ。

臭素「ラヂウム」液ノ注射後ニ得タル標本ニテハ全放射線ト共ニ「エマナチオン」ノ働キシモノハ放射後二日ニハ「プラスマ」細胞ノ發生ヲ見ルベク五週後ニハ「プラスマ」細胞ノ集團ト浮腫、白血球集團アリ、即チ強キ持續的炎衝ト共ニ凡テノ細胞ニ強キ障害ヲ與フルモノナルコトヲ知ルベシ、其他亦健康ニ發育シツツアル細胞、毛囊ノ細胞、辜丸、卵巢ノ上皮、淋巴細胞及ビ病的ニ發育スル細胞ニ強劇ノ影響ヲ與フ、此影響ハレントゲン放線及ビ「ラヂウム」ノ爲ニ働キテ「レチチン」分解シ、此自體溶崩「フェルメント」ニテ容易ニ侵サルルニ由ルトセリ。

レントゲン放線ト異ナリ「ラヂウム」線ノ α 線ハ殺菌力 Bactericide Kraft アリテ Prodigiosus, Staphylokokken, Streptokokken 白癩、黄癩、結核菌、脾脫疽菌等ニ働キテ之ヲ殺滅シ又「コレラ」チフス菌等ノ發育ヲ制止シ、痘瘡ハ二十四時間ニテ死ス、狂犬病毒ヲ無毒トス、又「ラヂウム」創ニハ普通ノ創傷ニ比シ諸種ノ傳染困難ナリ、又無痛作用 Analgetische Wirkung アルコトノ報告アリ。

上記ノ如キ諸效力ハ「エマナチオン」モ亦之ヲ有シ、其他產生輻射作用ヲ受ケタル物體モ亦然リ、唯動物試験ニ於テハ神經中樞ニ劇シキ障害ヲ貽スガ如シ。

人ノ上皮及ビ真皮ニ就キ臭素「ラヂウム」ヲ以テ研究スルニ、其四mmノ厚サアル皮膚ニ於テハ其三分ノ二ヲ吸収スルモ、若シ皮下脂肪組織ノ加ルアリテ、其厚サ即チ八mmナレバ吸収量ハ大ニ減ジテ唯二%ノミトナリ、上皮ハ實際十分ノ一ヲ吸収スルニ過ギズ、即チ真皮ガ皮膚及ビ皮下組織中ニテ過半ヲ吸収スルナリ。

病的組織ハ健康ノモノニ比シ其吸收高度ニシテ、狼瘡、乳房子宮筋腫殊ニ然リ、狼瘡ハ其隣接セル健康皮膚ノ倍量即チ三一・七%ニ對シ六六・七%、乳癌ハ六八・三%ニ對シ八二・七%、纖維筋腫ハ六八・三%ニ對シ八五・二%ノ如シ。

深キ組織層ニハ「ラヂウム」線ハ達セザル者ナレドモ之ハ唯深サ及ビ組織ノ種類ニノミヨルニアラズシテ第一ニ中間物ノ吸收力如何ニ由ルナリ、皮膚及ビ皮下脂肪組織ナレバ其吸收力ハ一cmマデ達シテ著明ナルモ、二cm以上ノ深サニ至レバ痛ノ如キ吸收力強

キモノニ於テモ纔カニ初メノ量ノ一二七分ノ一ヲ吸収スルノミ、元來「ラヂウム」ハ化學的腐蝕等ニ比スレバ非常ノ深入作用アレドモ其上層ト深層ニ於ケル關係上ヨリシテ深層ニ強キ影響ヲ與フル以前ニ既ニ上層ヲ破壊スルヲ以テ之ヲ豫防スル爲メ「カプセル」ヲ應用スルノ必要アルナリ、深部ニ働カシムル際ニハ上層ニ働ク放線 β ノ一部分ヲ濾過装置ニテ防グコトアリ、ウンナ氏法ハ此濾過法トシテ上層組織ハ甚シク害セラレズシテ其貼用時間ヲ延長シ以テ吸収スベキ放線量ノ全部ヲ利用スルニアリ。

二、「ラヂウム」應用ノ装置及ビ方法 Vorrichtungen zur

Anwendung der Radiums, Methode.

放線ノ應用 屢々應用スルハ「カプセル」型トス、鼻腔、口腔、食道、陰門等ノ如キ部位ノ放射ニハ「ラヂウム」鹽類ヲ插入固定スルニ便ナラシメタル適當ノ消息子形ノ製作セラルルアリ、效力アルハ β 線ナリ、然レドモ深部ニ働カシムル際ニハ前項記述ノ理由ニヨリ濾過装置雲母板ヲ以テ被包シ、尙其上ニ丈夫ナル護膜包裝ヲ置キ更ラニ厚紙ニテ包ムナリ、其必要ニ應ジテハ紙ノ包裝ヲ一層厚クスベシ。

此方法ニヨレバ、五mg.量ノ臭素「ラヂウム」ヲ應用スルニ當テ持續二時間ニ亘ルモ敢テ不快ノ反應ヲ呈セズ、反之此包裝ナキトキハ半時間ニシテ早クモ既ニ反應ヲ起コスモノナリ。

通常ハ二時間貼用後、六日ニ至リ紅斑ノ反應アリ、尙六日ヲ經テ表皮剝離面ニ結痂アリ、十四日後ニ治癒ス。

材料ノ輻射能作ヲ平均ニ保持セントセバ最モ良ク濕潤ヲ防グベシ、其目的ニハ護謨袋中ニ收藏スルヲ可トス。

「エマナチオン」ノ局處應用ハ大部分輻射能作ヲ附與セララルタル物體ヲ貼用スルニアリ、即チ「エマナチオン」綿、「エマナチオン」水、輻射能作性硝酸蒼鉛、輻射能作性硫酸バリウム等ヲ用ユ。

適應症

四、適應症 Indikationen

現今ハ何レノ病症ニモ之ヲ用ユ、身體ノ腔洞ニハ使用最モ簡便ナリ、然レドモ大病竈ヲ一時ニ放射シ能ハザルノ不利アリ。

皮膚、粘膜ノ炎衝症狀、就中慢性濕疹、乾癬(短時間ヲ可トス)「トラホーム」成績不定、狼瘡ハ本法ノ應用殊ニ良效アリ。

新生物ニテハ疣贅、表皮癌、圓形潰瘍ニ良效アリ、手術不可能ノ癌腫、肉腫ニシテ限局性ナレバ「ラヂウム」鹽類ノ多量ナル者最モ適ス、其他血管擴張症ニモ佳效アリ。

神經痛ニアリテハ筋間神經痛、三叉神經痛ニ效アリ。

「エマナチオン」ハ其他關節炎ニ應用セラレ又利尿劑タリ、血管擴張ノ作用アルヲ以テ羣

皮症ニモ效アリ、吸入、飲用、浴湯等トシテ内科的諸病ニモ用ヒラル。

本邦ニ於テ土肥博士ハ本療法ニ就キ大ニ研究セラレ已ニ其一端ヲ公表セラレアリ。

一、刺戟ナク表在作用ヲ營マシムル目的。

(イ) 表在ノ疾患例ヘバ濕疹及ビ神經性皮膚病ノ如キモノニハ濾過裝置ヲ用ヒザルカ、若シクハ極メテ薄キ護謨ヲ以テ被ヒ、毎日一―三分間照射シ八日間休止シ更ラニ

反復ス。

(ロ) 稍深キ疾患例ヘバ苔癬類ニハ四―八百分ノ一「ミリメートル」ノ厚サノ「アルミニウム」ト五枚ノ紙及ビ薄キ護謨ニテ濾過、五日間三―五分間照射シ、八日間休止後更ラ

ニ反復ス。

(ハ) 深キ疾患例ヘバ表皮癌、蟹狀腫等ニハ十分ノ一「ミリメートル」ノ鉛板ト十枚ノ紙及ビ護謨ニテ濾過ス、一日ノ照射時間ハ二時間持續トシ八日間照射ヲ反復ス。

二、破壊作用ヲ伴フ表在作用。

例ヘバ色素性母斑等ニハ濾過裝置ヲ用ヒザルカ又ハ一―五分ノ一「ミリメートル」ノ「アルミニウム」ヲ應用ス、三時間持續セシメ或ハ毎日一時間宛四時間ヲ照射ス。

三、表面ノ刺戟ナク深作用ヲナサシムルトキ、例ヘバ蟹狀腫、癌腫其他ノモノニハ、五―一〇「ミリメートル」ノ厚サノ鉛ノ濾過裝置ニテ毎日一時間宛三日間照射シ、八日後更ニ

反復ス、或ハ一「ミリメートル」ノ厚サノ鉛ノ濾過裝置ニヨリ六日間毎日三時間乃至十

二時間連続スルカ若シクハ二、三ミリメートルノ鉛(乳房癌)ニテ約七十時間ヲ十一、十二時間毎二日ニ行フ、又三、四ミリメートルノ鉛ニテ百五十時間ヲ十時間宛毎二日ニ照射ス。

四、表面ノ刺戟ヲ伴フ深作用、例ヘバ深部ニ侵蝕セル皮膚癌等ニハ一、二ミリメートル厚サノ鉛ニテ濾過シ七十二時間連続ス、五八〇・〇〇〇、ウラン單位ノ輻射ニテ六cm直径ノ扁平金屬板ヲ用ヒ行フナリト。

皮膚病ノ顯微鏡的解剖及組織ノ染色法

Die tinktorielle Histotechnik und die mikroskopische Analyse der Hautkrankheiten

皮膚病ノ本態ヲ究メ以テ其病理及ビ療法ヲ確定セントセバ必ず染色法ニ依リ之ヲ顯微鏡的ニ攻究セザル可カラズ、換言セバ組織的診斷及ビ組織的治療 Histo-diagnostik und Histo-therapie ノ下ニ於テスルコソ學術的ノモノナレ、此目的ヲ達スルニハ組織ヲ染色シニ其ノ各性質ヲ討究スルノ必要アリ、然レドモ之レハ理學的ト化學的ノ關係ニ因テ差アリ、例ヘバ酸 Saure ノ爲ニハ膠質 Kollagen 「プロト」プラスチック、Protoplasma ハ膨張スルモ、之ニ反シ不變ナルカ又ハ却テ縮小スルモノハ、エラスチン、Elastin 「ケラチン」、Keratin 「ヌクレイン」、Nuklein 等ナリ、是等縮小性ノ組織ハ速カニ且ツ容易ニ染色シ又脱色ハ却テ徐々

タルノミナラズ且ツ難キガ如シ、此皮膚染色法ニ關シテハウンナ氏最モ深ク研究シ世ニ貢獻セシ事甚ダ大ナリ。

「プロト」プラスチック、ニハ二種アリ一ハ泡沫様ノ構造ヲ有シ染色シ難キ即チ海綿様プラスチック、Spongoplasma ニシテ他ハ無結晶顆粒狀ナル染色シ易キ顆粒様プラスチック、Granoplasma トス。

顆粒狀プラスチックハ海綿様プラスチックノ孔竇中ニ時トシテ浮游物トナリ、或ハ細小顆粒ナル沈澱物若シクハ多少粗大ノ沈澱物トシテ包有セラル、鹽類液ニ溶解スル點ヨリ主トシテ「パラ」ヌクレオプロテイン、Paranukleoprotein ヨリ成リ、染色ノ性質上ヨリハ細胞核ノ顆粒物質ニ最モ近似ノモノト見做サル。

此ノ如ク泡沫様ナル海綿様プラスチック細胞ノ孔竇中ニ無結晶體ノ顆粒プラスチック多量ニ包容シ爲ニ其細胞體ハ好染スルモノナリ、ウンナ氏ハエーリヒ氏ノ「マストツェル」ン、Mastzellen ヨリ之ヲ區別シテ「プラスチックマツェル」ン、Plasmazellen ト名ケ、其本態ヲ皮膚ノ腫瘍及ビ肉芽腫瘍ニ就テ研究シ而シテ病理ノ大部分ニ有力ナル新見解ヲ與ヘ、遂ニ此プラスチックマツェル「ン」ノ定義ハ一方ニハ増殖性ノ結組織細胞ニシテ、此中ニハ無結晶顆粒狀ナル「グラ」ノプラスチック多量ニ増加シ此増加ノ爲メ細胞漸次圓形トナリ、元來ノ「スポン」ギオプラスチックノ突起ハ牽縮セラレテ橢圓トナリ、或ハ又膠様間隙若シクハ壓縮セララル病竈ニ閉チ込マレタルトキハ多角形狀トナル者トセリ、核ハ通常橢圓形ニシテ往々細

胞ノ端ニアリ、大ニシテ好染スル、クロマチン顆粒 Chromatinkörper 配列シテ粗大ナル、クロマチン網 Chromatinnetzヲ呈ス。

「プラスマツェルレン」ハ丸キ又角アル膠様組織ノ孔隙中ニアリテ其突起ヲ以テ各互ニ結合セズ、結組織ノ紡錘狀及ビ蜘蛛狀細胞トハ反對ニシテ此等結組織細胞ハ膠様ノ間隙物質ノ形成ニ關係アリ、各肉芽性腫瘍ハ此大ナル「プラスマ」細胞ニ反シ小サキ細胞ノ一量ヲ含有ス、其「プロトプラスマ」ハ同様ノ染色反應ヲ呈ス、之ヲ二大別シテ(a)「プラスマトホテル」細胞 Plasmatochterzellen (b)萎縮「プラスマ」細胞 atrophische Plasmazellen トス(a)ハ核分裂ニヨリテ生ジ其境界明瞭ナルモ、(b)ハ「プロトプラスマ」ノ不規則ナル破潰ニヨリテ生ジ境界不明ナリ又(b)ハ其他附近ノ淋巴間隙中ニ粗大細小ノ「プロトプラスマ」破片トシテ存ス、小細胞浸潤ナルモノノ大部ハ實際ハ萎縮セル定住ノ結組織細胞ヨリ成リタル「プラスマ」細胞ニ外ナラズ、肉芽腫瘍組織中ニ血液ヨリ「プラスマ」細胞游出スルト云ヘル所謂淋巴細胞説 Lymphocytentheorie ハ未ダ實證ナク却テ定住ノ紡錘細胞ヨリ成リシ「プラスマ」細胞ノ後遺ナリトス。

「グラノプラスマ」又「プラスマ」細胞及ビ其移行細胞ノ諸種ノ形狀ヲ見ント欲セバ切片組織ニ凡テ靱メス性質アル者ニ觸レシメザルベシ、殊ニ木栓、木、フォルマリン、クロム酸、硝酸オスミウム酸、ピクリン酸又ハ石炭酸、昇汞等ト觸接ヲ避クベシ、組織ハ切取スルヤ直チニ綿ト無水アルコールヲ半バ滿タシタル清淨ナル玻璃器ニ入レ置クベシ、然レバ

速ニ硬固ス、而シテ成ルベク早ク「コロイヂン」(バラフィン)ハ不可ニ入ルベシ。

大「プラスマ」細胞、「グラノプラスマ」簡便

最良染色法 Färbungsmethoden der grossen

Plasmazellen und des Granoplasmas

A. ポリクローム、メチレンブラウ液—グリセリンエーテル法 Polychrome Methylenbläulösung—Glycerinäther-Methode.

一、ポリクローム、メチレンブラウ液 二、二時間

二、水ニテ充分洗滌ス

三、グリセリンエーテル混合物一分ヲ水四分ニ稀釋シタルモノニテ一—二時間。

切片厚ク膠様物多キトキハグリセリンエーテル中ニ永ク浸漬シ置クノ要アリ。

四、水ニテ充分(二—五時間)洗滌。

五、無水酒精—ベルガモット油—バルサムノ順序トス。

此方法ニテグラノプラスマ及ビ核ハ暗紫色ニ、マスト細胞ハ赤色ニ染色シ、膠質ハ脱色ス、又此染色法ニヨリ角質ノ有機體、軟下疳ノ桿菌、組織内ノ脾脫疽菌ヲ證明スルコトヲ得

B. 石炭酸ピロニン、メチレングリーン緑法 Carbol + Pyronin + Methylgrün-Methode

一、石炭酸ピロニン、メチレングリーン混合液(グリニヂル製)ヲ試験管ニ入レ攝氏三十度乃至四十

度重湯煎ニテ五—十分

皮膚病ノ顯微鏡的解剖及組織ノ染色法

- 二、試験管ヲ冷水中ニ入レ成ベク早く冷却セシム
- 三、組織ヲ白金線若シクハ「グラス」棒ニテ取出シ水ニテ洗滌ス
- 四、無水酒精、ベルガモット油、バルサムノ順序トス。

此法ニテハ「グラス」ノ「ブラスマ」ハ暗赤色ニ「マスト」細胞ハ橙色若シクハ褐色ニ、核ハ青色若シクハ綠色ニ、膠質ハ灰白赤色ニ、筋ハ青色。

此法ニヨレバ角質、軟下疳ノ桿菌、毛嚢及ヒ瘡ノ化膿菌、膿及ヒ組織ノ淋菌ハ著明ニ染色ス。

「ブラスマ」トホテル「細胞」及ヒ「萎縮」「ブラスマ」細胞、

「グラス」ノ「ブラスマ」遺殘物、「スポンギオ」「ブラスマ」及

ビ「泡沫細胞」ノ染色法 *Färbungsmethode der Plasmatoch-*

terzellen, atrophische Plasmazellen, granoplasmareste-bröckel,

Spongiplasma und Schaumzellen.

C、ポリクローメ、メチレンブラウ液—アニン、アラウン法

- 一、酒精及ビエーテルニテチエロイヂンヲ去ル
- 二、無水酒精及ビ水ニテ洗滌ス
- 三、ポリクローメ、メチレンブラウ液ニ五分間

四、水ニテ充分洗滌

五、スパイテルノ上ニテ濾過紙ニテ充分乾燥ス

六、スパイテルヲ早く沈メテ切片ヲ酒精キシロール(酒精二〇、キシロール三〇)ノ中央ニ一時

間沈置シ、然ル後脫水セシム

七、キシロール中ニ約一分間

八、アニン、アラウン混合物ニテ五乃至十分間脫色ス、アニン油ヲ滿タセル玻璃器中ニ粉末トセルアラウンヲ一二指横徑ノ厚サニ置クベシ、此混合物ハ陳舊ナル程脫色力強シ

九、キシロールバルサム。

グラスノ「ブラスマ」及ビ核ハ暗青色ニ、「マスト」細胞ハ赤紫色ニ、「スポンギオ」細胞、泡沫細胞ハ灰白青色若シクハ灰白紫色ニ、膠質ハ鮮青色ナリ、泡沫細胞ハ近來ノ命名ニ係ハリ浮腫性組織細胞ヲ云フ、至ク「グラス」ノ「ブラスマ」ナリ、染色シ難ク且ツ必ず孔窠アリ。

D、ポリクローメ、メチレンブラウ液—石炭酸—ピロリンメチール綠法 *Polychrome Methyleneblaulösung, Carboll-Pyrolin-Methylgrün-Methode.*

- 一、ポリクローメ、チレンブラウ液ニ二分間浸漬
- 二、水ニテ洗滌ス
- 三、石炭酸ピロリンメチール綠混液ヲ試験管中ニテ重湯煎中二十分
- 四、速カニ冷却ス
- 五、水、無水酒精、ベルガモット油、バルサム

此方法ニテハ破壊シ易キ化膿竈ノ如キハチロイヂンハ其儘トシテモ可ナルモ若シ取去リ得レバ一層可ナリ。

「グラノプラスマ」赤色、マスト細胞ハ橙色若シクハ褐色、核ハ綠色若シクハ紫色、膠質ハ灰白紫色、スポンギオプラスマ及ビ泡沫細胞ハ灰白紫色、筋ハ青色ナリ。

此方法ニヨリテ角質膿球、連鎖菌、淋菌ハ著明ニ見ユ。

「プラスマ」細胞ノ「グラノプラスマ」ノ必要變質ハ晶性變性ナリ、「グラノプラスマ」ハ「スポンギオプラスマ」ノ目ノ中ニ閉ヂ込メラレ、「プラスマ」細胞ハ晶性變化ニ加ハラザルヲ以テ晶質ハ「プラスマ」細胞中ニテ一團トナル、核モ亦晶性變化ヲナサズシテ萎縮シ周圍ニ壓迫セラル、變性セル細胞ハ破レテ組織ノ間隙ニ晶性ノ一團ヲ吐キ出スナリ、肉芽腫及ビ腫瘍ハ多少此「プラスマ」細胞ノ變化ヲ伴フモノナリ、此晶性細胞ガ各個ニ存スルトキハ往々細菌ト誤認セラルルコトアリ、「プラスマ」細胞ノ晶性細胞ニ移行スルハ「アクチノミコーゼ」マツラ足、鼻、硬腫等ニ於テ之ヲ見ル。

晶性ニ變化セル細胞ノ對照染色法 Kontrastfärbungsmethode

thode der hyalindegenerierten Zellen.

ポリクローム、メチレンブラウ液—タンニン、酸性フクシン法 Polychrome-Methylenblausung-Tannin-Säurefuchsin Methode

一、ポリクローム、メチレン青液二分間

二、水ニテ充分洗滌

三、三三%タンニン水溶液ニ一%酸性フクシン或ハ一%金オレンジ(半時間乃至一時間)

四、蒸餾水洗滌

五、無水酒精ベルガモット、バルサム。

膠質及ビ、プロトプラスマハ赤色(橙色)ニ、晶性體及ビ核ハ青色ニ、絲狀纖維素、ワイゲルト法ニテ染色セザル顆粒「フィブリン」、「エラチン」、「Elaein」組織内ノ丹毒菌、脾脱疽菌脂肪組織ノ孔核 Leukeme 及ビ酸性核モ亦青染ス、此孔核ハ脂肪核ノ變性產物ナリト云フ、酸性核ハ大ニシテ組織ノ増殖ヲ意味シ病的ニ變化セル皮膚ニ來ル、普通ハ脂肪組織ニ來タリ又治療ノ少ナキ組織ニモアリ、

晶性ニ變化セル結締織細胞ノ染色法 Färbungsmethode

der hyalindegenerierten Bindegewebezellen

ポリクローム、メチレンブラウ液—沃度エオヂン法 Polychrome Methylenblausung-Jod-Iosin Methode

一、ポリクローム、メチレンブラウ液二分間

二、水ニテ洗滌

三、無水酒精ニハ二%沃度、〇・一%エオヂントノ混合物ニ二分間

皮膚病ノ顯微鏡的解剖及組織ノ染色法

四、無水酒精、ベルガモット、バルサム。

「プロトプラズマ」及「ビ膠質」ハ赤色ニ、核及「ビ晶質」ハ青色ニ、細胞ハ著明ニ染色ス。
「マスト」細胞ハ鹽基性色素ニテ Metachromatischニ染色ス、殊ニ(A)法ニ依レバ赤(B)法ニハ橙
色褐色(C)法ニテ赤紫色(D)法ニテ橙色若シクハ褐色ニ染色ス。

ホリクローメ、メチレン青液—アラウン法 Polychrome-Methylenblaulösung-
Arann-Methode.

「マスト」細胞ヲ他ノ良ク染色セル者ヨリ一層著明ニセントスル法ナリ。

一、ホリクローメ、メチレン青ノ皿ノ中ニ小刀尖丈ノアラウンヲ入レタル者ニ一夜。

二、水ニテ洗滌ス。

三、無水酒精、ベルガモット、バルサム。

「マスト」細胞顆粒ハ暗赤色トナリ、各個ノ顆粒ハ他組織ノ薄キ青色ニ對照シテ著明ナリ。

膠質ノ鹽基性ヲ區別スル染色法 Färbungsmethode

zur Unterscheidung auf Basophile des Kallagens

ホリクローメ、メチレン青、オルセイン法 Polych. Methylenblaulösung-Orcein Methode

一、ホリクローメ、メチレン青ニ十分間

二、水ニテ充分洗滌

三、切片ヲ「スバール」テ「ル」ノ上ニテ濾過紙ニテ引水シ

四、酸ヲ加ヘザル一%オルセイン酒精ニテ十五分間染色ス

五、無水酒精、ベルガモット油若シ切片ニシテ青色尙ホ強キ時ハ兩方ニ反復脱色ヲナスヘシム

六、バルサム。

此法ヲ用ユルトキハ組織片ハ必ズ速ニ無水酒精ニテ硬固ニナスベシ、尙注意スベキハ
酸ヲ加ヘタル彈力纖維染色用ノモノト誤用スベカラズ。

「エラスチン、プロトプラズマ」及「核」ノ染色法

Färbungsmethode der Elastin neben Protoplasma und Kerne.

オルセイン

1.0

鹽酸

1.0

無水酒精

100.0

右酸性オルセイン液ヲ「エラスチン」染色用トス。

酸性オルセイン—ホリクローメ、メチレン青—グリセリンエーテル法 Angesäuertes
Orcein-Polychrome-Methylenblaulösung-Glycerinäther-Methode.

一、切片「チロイヂン」ハ附著シアリテモ可ナリ、酸性オルセイン液ニ一夜間浸漬ス

二、無水或ハ稀釋酒精ニ入レ全ク脱色スルニ至ラシム

三、水ニテ洗滌。

皮膚病ノ顯微鏡的解剖及組織ノ染色法

四、ポリクローム、メチレン青液ニ一二分間

五、水

六、グリセリン、エーテル混液一分ヲ水三分ノモノニ一二分間

七、充分水ニテ洗滌ス

八、酒精油、バルサム。

或場合オルセインノ爲メ膠質強ク染色セルトキハ(二)ニ於テ酒精ニ酸ヲ加フベシ、又單ニ「プロトブラスマ」ノ對照染色ヲナサズエラスチン染色ノミナレバ其方法ハ(一)(二)(八)ニテ足レリ。

酸性オルセイン、ポリクローム、メチレン青液—タンニン(酸性フクシン橙)法

Angesuetes Orcin-Polychrome-Methylenlaesung-Tannin (Säurefuchsin Orange)-Methode

之ハ「エラチン」Elaein 即チ鹽基性トナリシ「エラスチン」ノ染色法ニシテ「エラチン」纖維ハ普通彈力纖維ニ反シテ比較的廣ク丸味アリ、稍々弓狀若シクハS字形ニ屈曲シ粗雜ニ僅カニ組織中ニ緊張ス、屈曲甚シカラズ又分岐セズ、オルセインニモ染色スルモ其度強シ、占位ハ大人ノ顔面皮膚ノ中層ニアリ。

一、酸性オルセイン液ニ一夜

二、酒精ニテ洗滌ス

三、水

四、ポリクローム、メチレン青液二分

五、水

六、三三%タンニン液(1%酸性フクシン或ハ1%金橙色)ニ半一時間

七、水ニテ充分ニ洗滌

八、無水酒精、ベルカモット油、バルサム。

本法ニテハ「エラスチン」ハ暗褐色、「エラチン」ハオルセイン色ノ外ニ稍々青味アリ、即チ「エラスチン」ニ比シ黒青色ナリ。

細胞内及遊離ノ脂肪染色法 Färbungsmethode der in

Zellen eingeschlossenen und freien Fette

一、皮膚ノ組織片ハ半cm大トシ之ヲ1%硝酸ト1%ピクリン酸及ビ1%鞣酸混液ニ二十四時間解電中ニ入ル

二、成ベク早ク酒精ニテ硬化シチエロイヂンニ固定ス

三、チエロイヂン附著ノ儘ニテ1%オスミウム酸液1%アラウン液中ニ四時間入ル或ハ此混液ノ代リ二十二時間フレンミング Flemming 液ニ入ル

四、水ニテ洗滌ス

五、溶解セルグリセリン寒天ニ入ル。

上皮染色法 殊ニ細胞ノ構造ニ就テ Färbungsmethode
des Deckepithels, besondere im Rücksicht auf der Struktur der
Zellen.

水青—オルセイン、エオジン—サフラニン—カリ、ビクロミウム法 Wasserblau—
Orcein + Erosin-Saffranin-Kali bichromicum Methode

材料ヲアルコール或ハフォルマリンニテ固メ酒精ニテ硬化シ、チエロイジンニ固定シ
五—七・五八μノ厚サノ切片トシ、左ノ染色ヲ行フ。

- 一、水 一・〇
 - オルセイン 一・〇
 - 氷醋酸 五・〇
 - グリセリン 二〇・〇
 - 酒精 五〇・〇
 - 蒸餾水 一〇〇・〇
- 此混合液ヨリ其ノ一・〇ヲ取り之ニ一%酒精エオジン液〇・三〇・〇〇三エオジンヲ加ヘ之ヲ
八〇%酒精ニ良ク溶解ス、蒸發ヲ防グ爲メ試験管中ニテ十分間冷處ニテ染色ス。
- 二、蒸餾水ニテ洗滌ス。
 - 三、一%サフラニン水溶液ニ十分間

四、蒸餾水ニテ良ク洗滌ス

五、〇・五%カリ、ビクロミウム水溶液ニ十分乃至三十分間

六、蒸餾水ニテ洗滌

七、無水酒精、ベルガモット油、バルサム。

大小上皮巨態細胞染色法 Färbemethode der kleinen und grossen Epithelriesenzellen

一、一%オルセイン酒精酸ヲ加ヘザルモノニ十分五分間

二、酒精中ニテ洗滌

三、水ニテ洗滌

四、ホリクローメ、メチレン青二分間

五、水ニテ良ク洗滌ス

六、グリセリン、エーテル混液此液一分、水三分ニテ洗滌

七、水ニテ約二分間洗滌

八、無水酒精、ベルガモット、バルサム。

本法ニテハ上皮變質ノ程度ニ從ヒ其ノ、プロトプラスマハ暗青色若シクハオルセイン
褐色ニシテ核ハ、プロトプラスマト對照區別ス。

角質細胞ノ染色異同ヲ見ル法 Methode zum Studium der
tinktoriellen Verschiedenheiten der Hornzellen.

皮膚病ノ顯微鏡的解剖及組織ノ染色法

角質細胞ノ
染色異同ヲ
見ル法

脂肪ナキ足蹠組織片ヲ二日間血清或ハ濃厚ノサルチル酸水溶液中ニテ軟化セシメ角質粥トシ之ヲ被覆硝子ニ取り氷醋酸ノ一滴ヲ滴加シ之ヲ火焰ニテ乾燥シテ固定シ左ノ如ク染色ス。

- 一、ボリクローメ、メチレン青ヲ點加シ火上ヲ蒸氣ノ出ヅルマデ通過セシム
- 二、弱酸性水ニテ極メテ短時間後普通ノ水ニテ洗滌ス
- 三、赤色血碯鹽ニテ一分間染色
- 四、弱酸性ノ水ニテ短時間後普通ノ水ニテ洗滌ス
- 五、酒精油、バルサム。

此法ニヨリテ角化細胞ハ斑紋狀ニ青色紫色赤色ニ染色ス青色ノ者ハ青色點狀ニ紫色ノ者ハ赤色細胞面ニ青色ニ染色セル點狀ノ爲ニ紫色ヲ呈シ赤色ハ其儘ナリ、即チ角化細胞ノ表面ニ差違アルコトヲ知ル。

磨碎セル落屑中ノ分裂菌染色法

磨碎セル落屑中ノ分裂菌染色法 Die Färbemethode der Spaltpilze in zerriebenen Schuppen

落屑ヲ一滴ノ氷醋酸ト共ニ載物硝子ニ置キ更ラニ此上ニ載物硝子ヲ載セ壓ト共ニ數秒間角化細胞粥ヲ作り之ヲ靜カニ離シテ各々火焰上ニ乾カス而シテ此硝子ヲ稍々傾ケテ之ヲ支フル指間ニ「ガーゼ」或ハ綿ヲ插ミ其一端ヨリエーテル酒精ノ二三滴ヲ流加

瘰癧及ビ面皰ノ細菌染色法

瘰癧及ビ面皰ノ細菌染色法 Färbemethode der Organismen in den Akne-Comedonen

シ之ガ材料ヲ通過シテ溶解セル脂肪ヲ綿ニ流入セシムベシ、斯クシテ後ボリクローメ、メチレン青ヲ二滴流加シ速カニ他ノ載物硝子ニテ被セ之ヲ火焰上ニ蒸發セシム、而シテ一時間冷却セシメ水ニテ洗滌シ一滴ノグリセリン、エーテル混液(一ニ付三ノ水)ヲ滴加シ一分間脱色セシメ水ニテ洗滌シタル後之ヲ乾カシバルサムニテ閉ヅ。此法ニテ落屑ハ青色ニ、菌ハ速カニ其中ニ紫色ヲ呈ス。

瘰癧面皰中ニハ多數ノ球菌アリ、面皰ハ塗抹標本ヨリ寧ロ切片標本ヲ可トシ、面皰全組織ヲチエロイヂン液ニ入ルルヲ便トス。

- 一、ボリクローメ、メチレン青ニ二分間
- 二、水ニテ洗滌
- 三、ルゴール氏液ニ千倍エオチン液ヲ加ヘタルモノニ二分乃至五分間
- 四、水ニテ洗滌
- 五、載物硝子上ニテ濾過紙ニテ乾カス
- 六、アニリンニテ全ク脱水セシメ
- 七、キシロール、バルサムノ順序トス。

細菌ハ赤色ノ角質中ニ著明ニ暗青色ニ染色ス。

皮膚病ノ顯微鏡的解剖及組織ノ染色法

落屑全部ト同時ニ細菌ノ染色法

落屑全部ト同時ニ角質ノ細菌染色法 *Farbemethode der Hornorganismen miterst Durchfärbung der ganzen Schuppen*

落屑及ビ痂皮ガ名刺紙位ノ厚サナレバ全部染色ヲナシ又脱色スルモ其角質ニ於ケル細菌等ノ位置ノ變化關係等ニ障礙ヲ起サズ即チ癩風、紅色陰癬、白癬又他結痂性濕疹等モ此方法ニ適スベシ。
落屑ヲ破壊セザル様ニ採取スルニハ亞鉛華、絆創膏、ロイコプラストヲ其局部ニ貼布シ剝離シ易キ痂皮ノ直チニ固著シタルトキハ數時間ノ後若シクハ翌日之ヲ剝離スベシ、此絆創膏ハ保存シ置クコトヲ得之ガ検査ノ際ハ偏陳ヲ入レタル皿ニ此硬膏ヲ浸セバ落屑ハ直チニ游離スベク之ヲ直チニ少量ノ酸ヲ入レタル無水酒精中ニ入ルレバ附着セル亞鉛華ハ溶解スルヲ以テ更ラニ水ニ入レ膨張セシメテ染色力ヲ與フ、染色ハ成ベク載物硝子上ニテ之ヲ行フベシ、普通ノ石炭酸フクシン溶液ノ一二滴ヲ落屑上ニ滴加シ更ニグリセリンノ一滴ヲ加ヘテ蒸發乾燥及ビ沈澱ヲ防ギ以テ一二時間放置シ後染色液ノ過剩分ヲ吸引紙ニテ吸收シ一二滴ノ水ヲ滴加シ、此方法ヲ反復セル後、染色セル落屑ノ全部ヲヒクロ、アニリン(一%)ピクリン酸(一%)ヲ入レタル皿ニ一夜间放置スレバ茲ニ染色ノ差ヲ生ジ角質ハ黄色ニ、細胞ハ赤色トナル、之ヲバルサムニ入ルルニ先

チ落屑ヲ純アニリン中ニ長時間浸漬シ以テキシロールニ入レアニリンヨリ清純ニスベシ、此法ハ亦髮ニ附着セル絲狀菌染色ニ適ス。
石炭酸フクシンノ代リニゲンチアナアニリン水溶液ヲ用ヒヒクロ、アニリンニテ脱色前強ク沃度化セシムルモ可ナリ。

脱毛或ハ健毛ノ分裂菌染色法 *Farbemethode von Spaltpilzen auf epiliierten oder gesunden Haare.*

毛瘡、癬、膿疱疹ノ如キハ拔毛シテ染色ス。

- 一、ホリクローメ、メチレン青ニテ一二分間染色
- 二、水中ニテ毛ヲ洗滌ス
- 三、吸引紙ニテ乾燥セシム
- 四、年齢及ビ染色ノ強弱ニ依リアニリン食鹽水ニテ脱色ス
- 五、キシロール、バルサム。

脱毛ニ此方法ヲ行ヒ之ニ附着セル分裂菌ノ美麗ナル像ヲ認ムルコトヲ得ベシ。

新訂 第七版 皮膚病診斷及治療法終

表 一 第

Akne vulgaris
瘡 瘰 性 常 尋



Ekzema krustosum capitis
疹 濕 性 癬 結 部 頭



Akne rosacea
鼻 渣 酒



Cheiropompholix
泡 汗

表 二 第

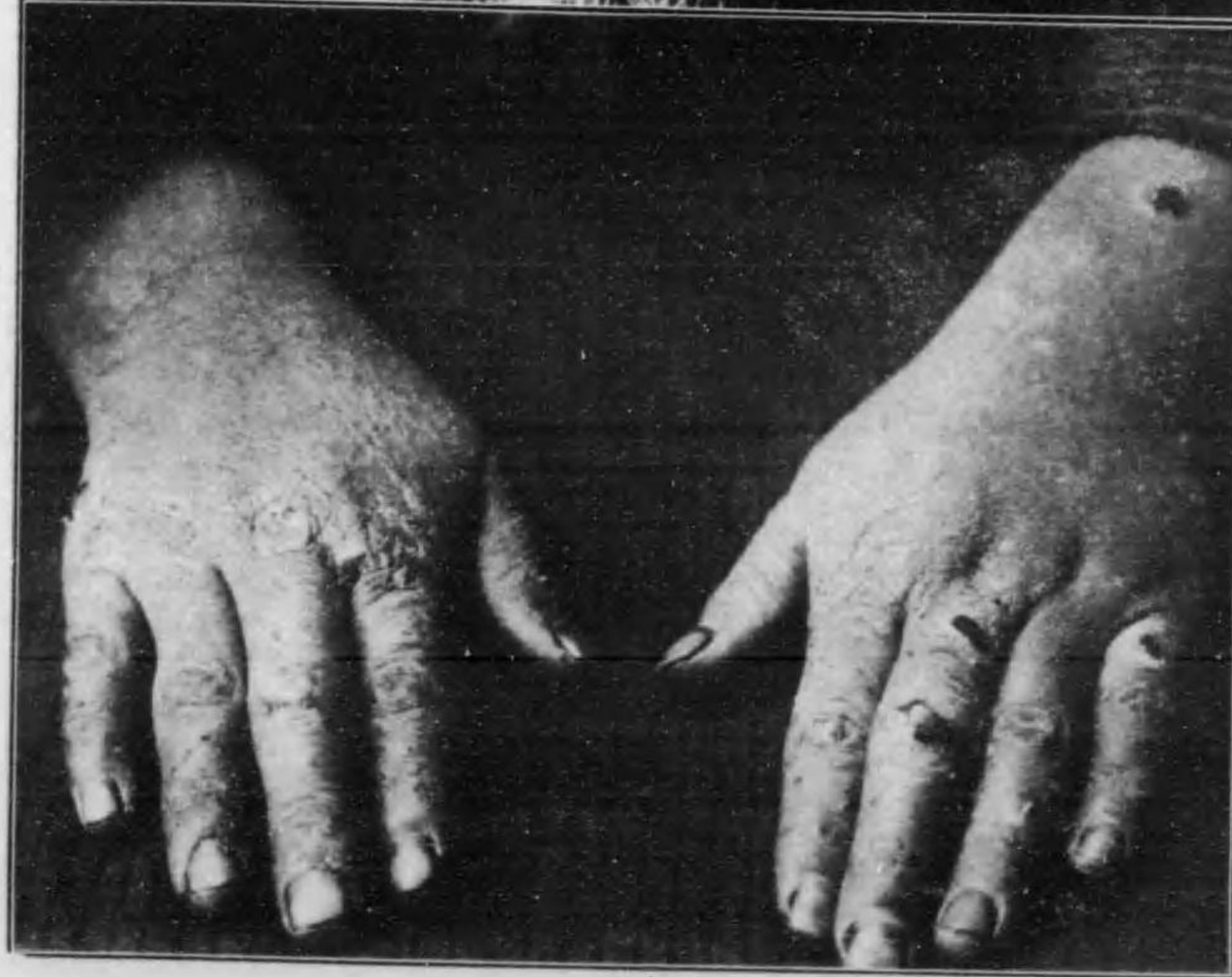
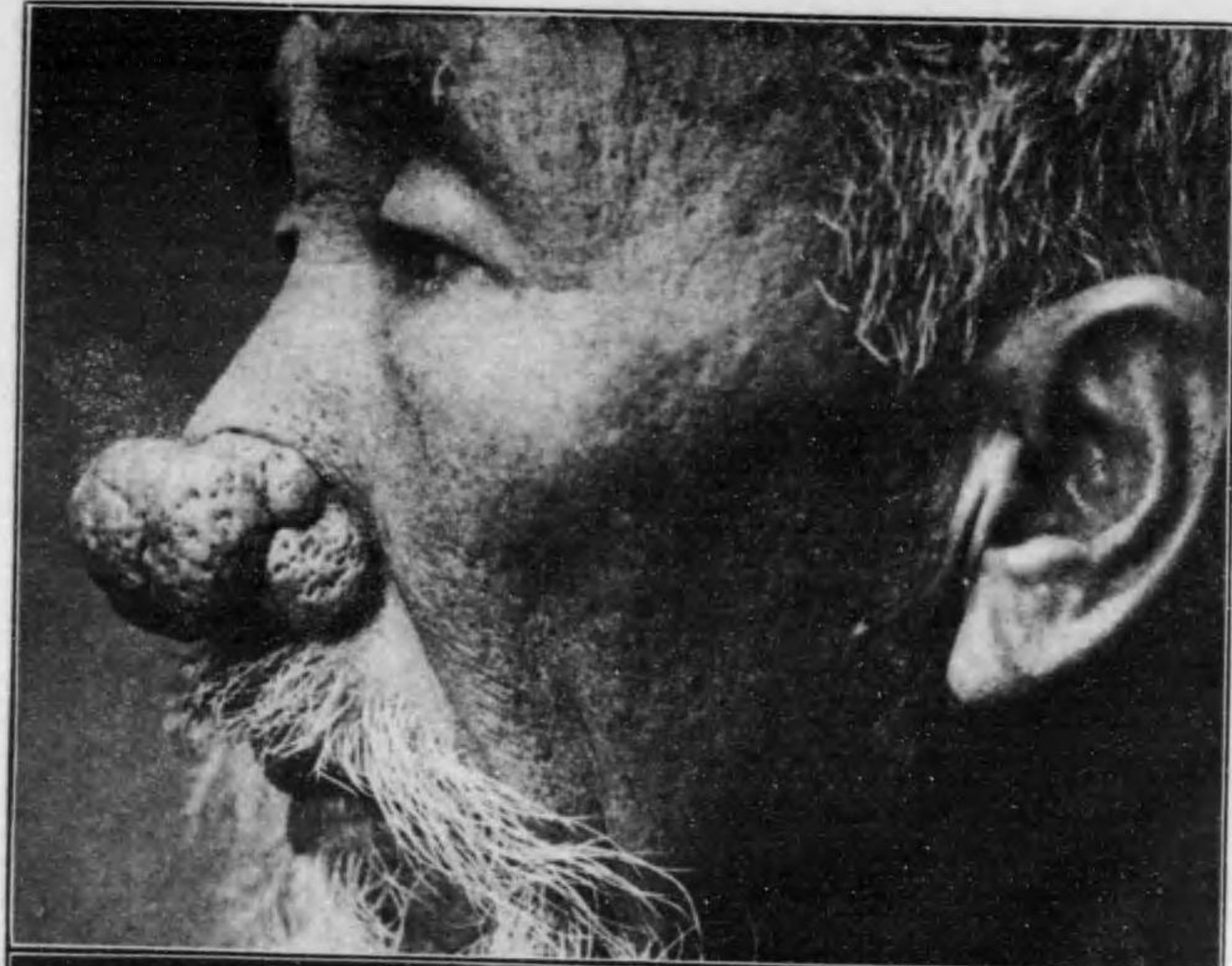
Psoriasis punktata
癬 乾 狀 點



Dermatitis papillaris capilliti
炎 膚 皮 頭 乳 部 頭

表 三 第

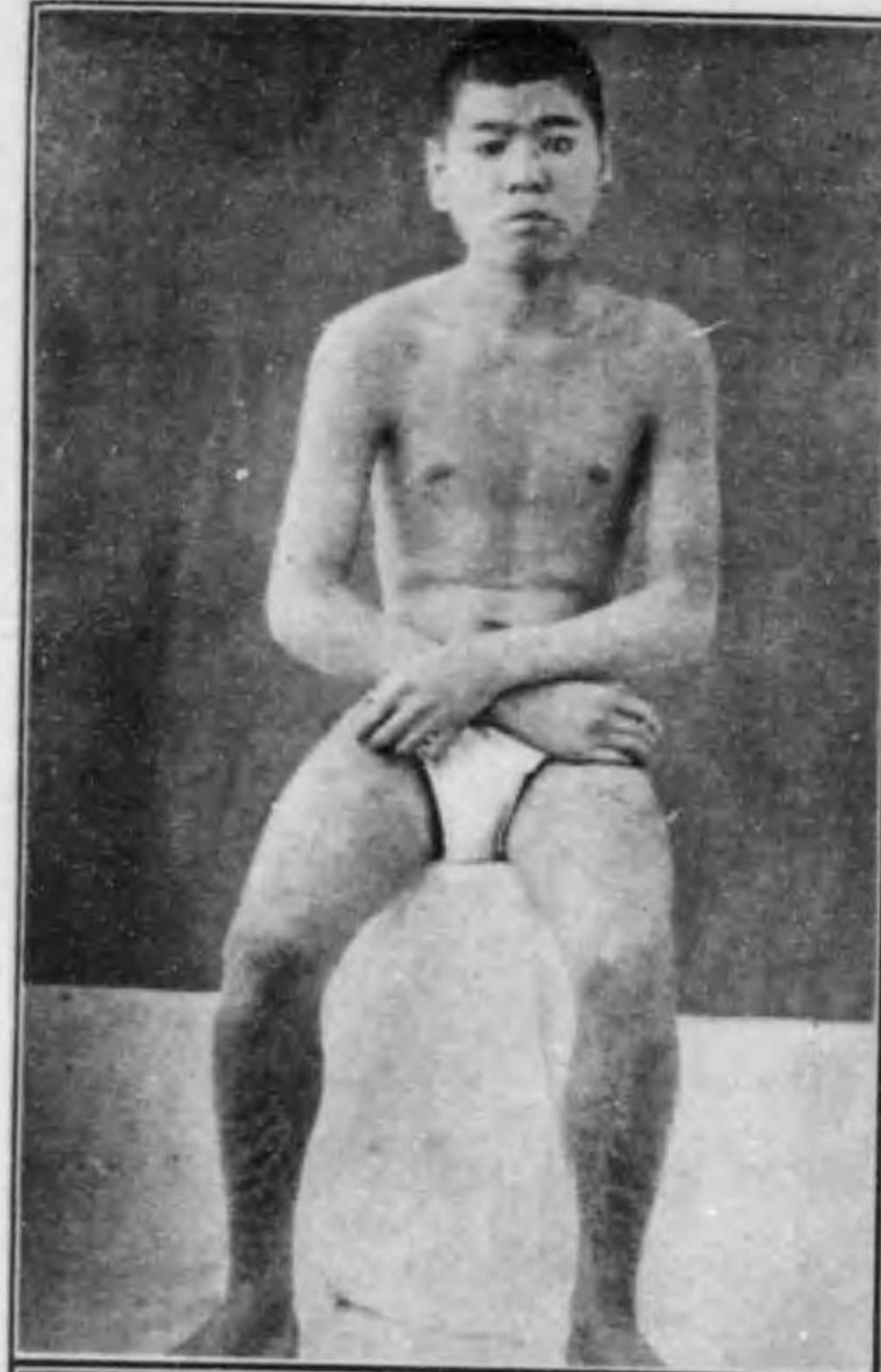
Rhinophyma
瘤 鼻



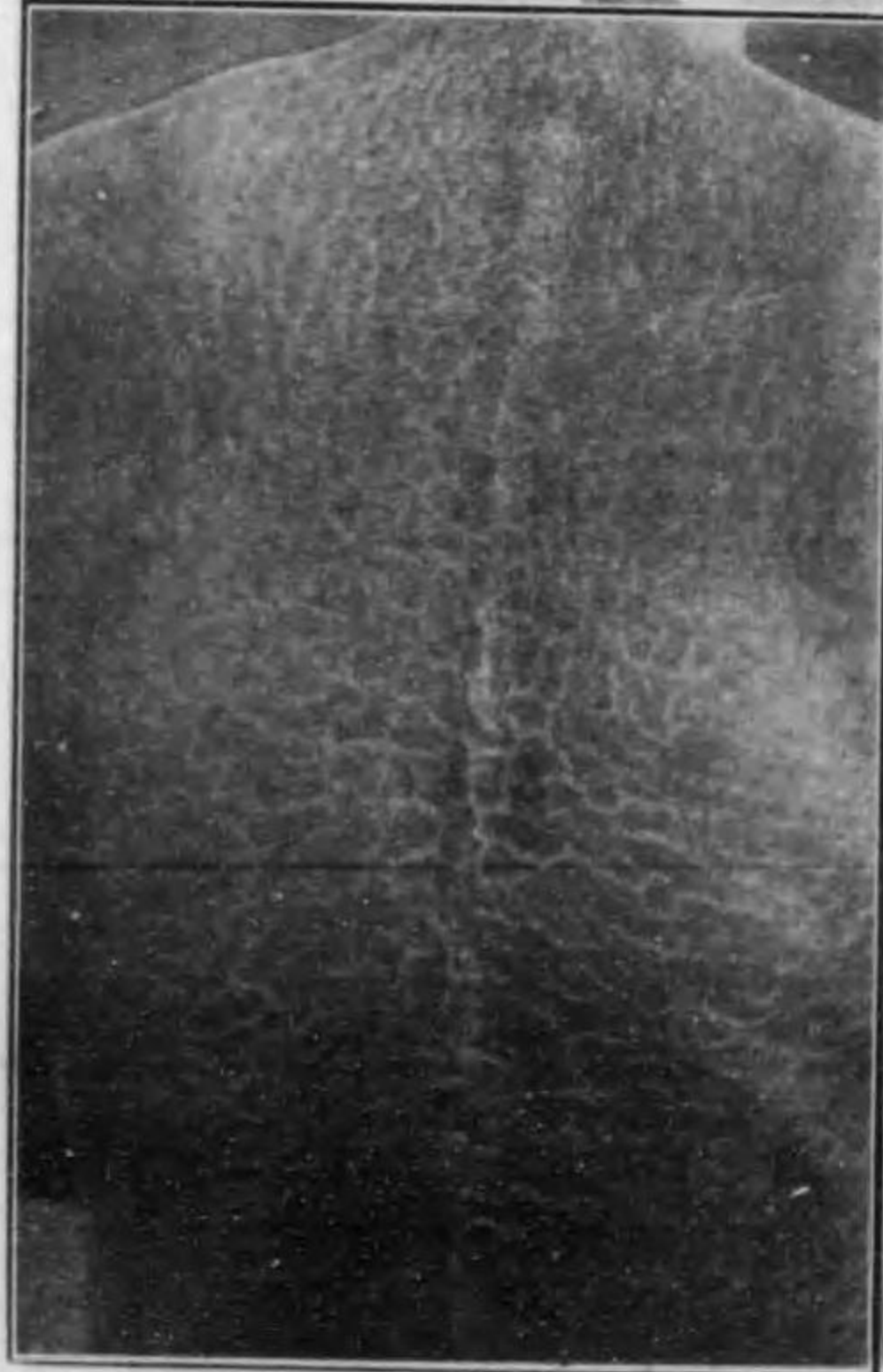
Congelatio ulcerosa
傷 凍 性 瘍 潰

表 四 第

Ichthyosis simplex
鱗 魚 癬



Antipyrin exanthema
疹 林 必 知 安



Ichthyosis simplex
癬 鱗 魚

Antipyrin exanthema
疹 林 必 知 安

表 五 第

Urticaria 疹 麻 蕁
Lichen urticatus 癬 苔 樣 疹 麻 蕁



Bromakne 疹 素 臭
Narbenkeloid 腫 足 蟹 性 痕 癩

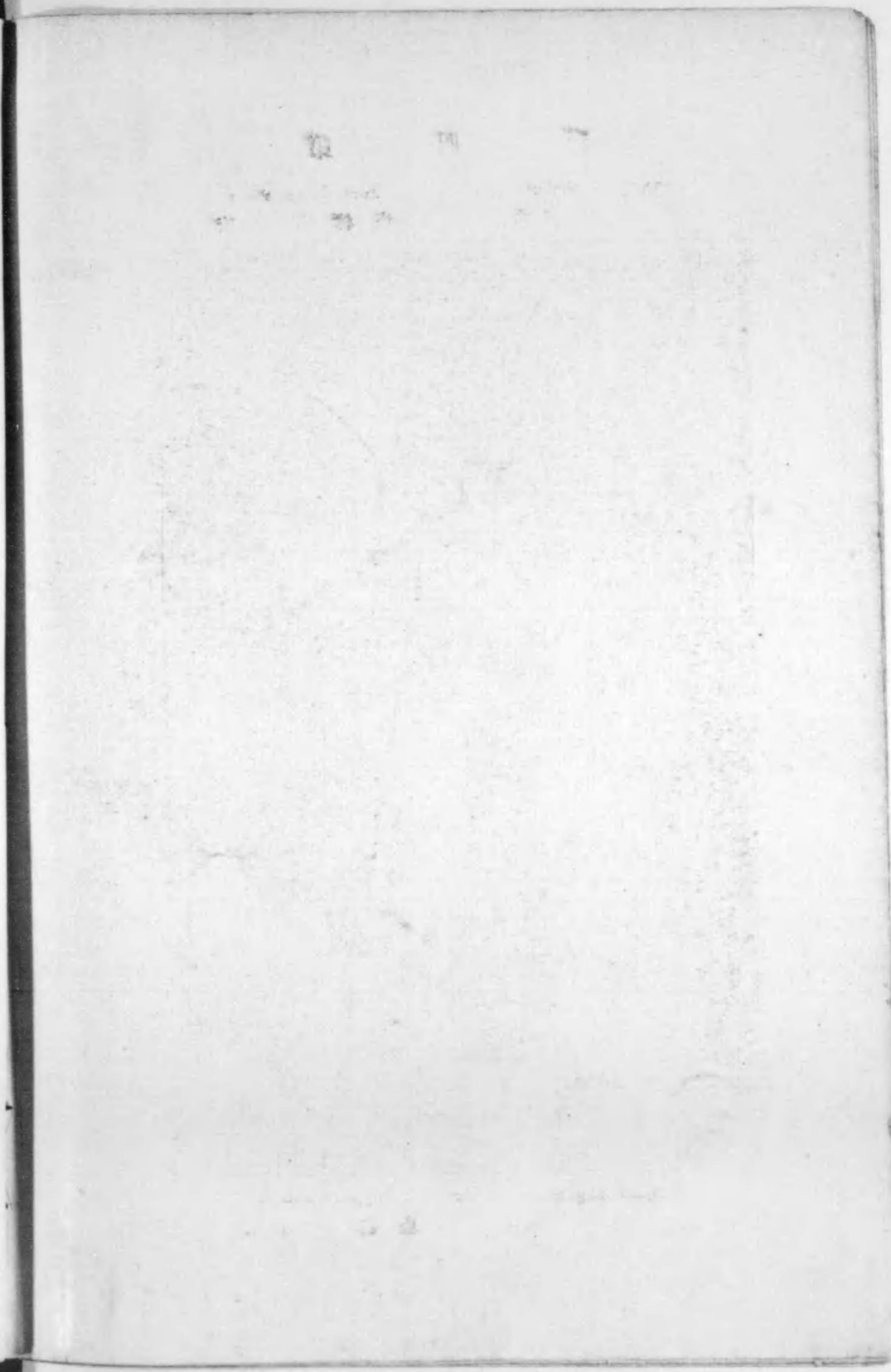
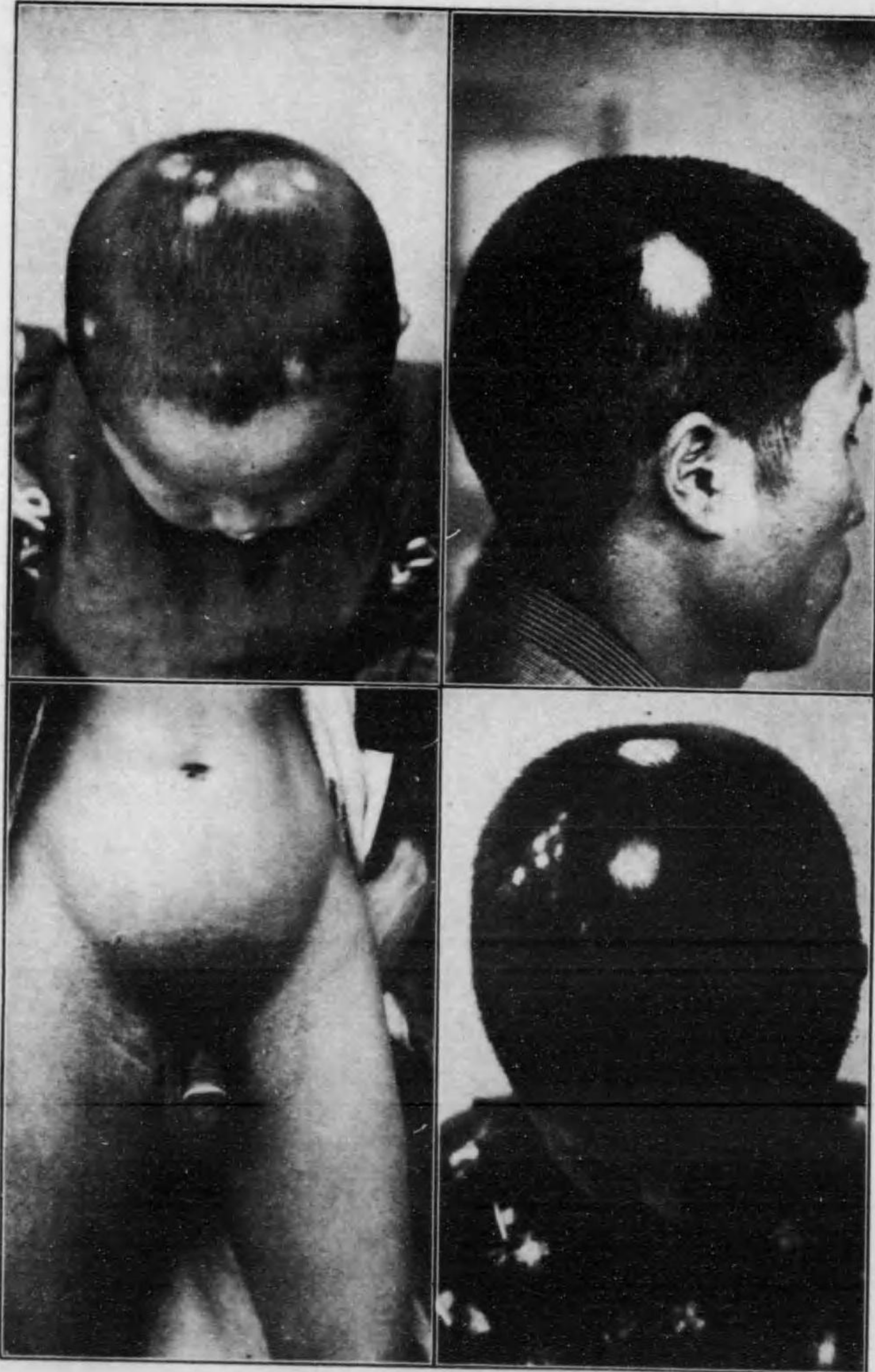


表 六 第

Herpes tonsurans capilliti
癬 白

Alopecia areata
髮 禿 形 圓



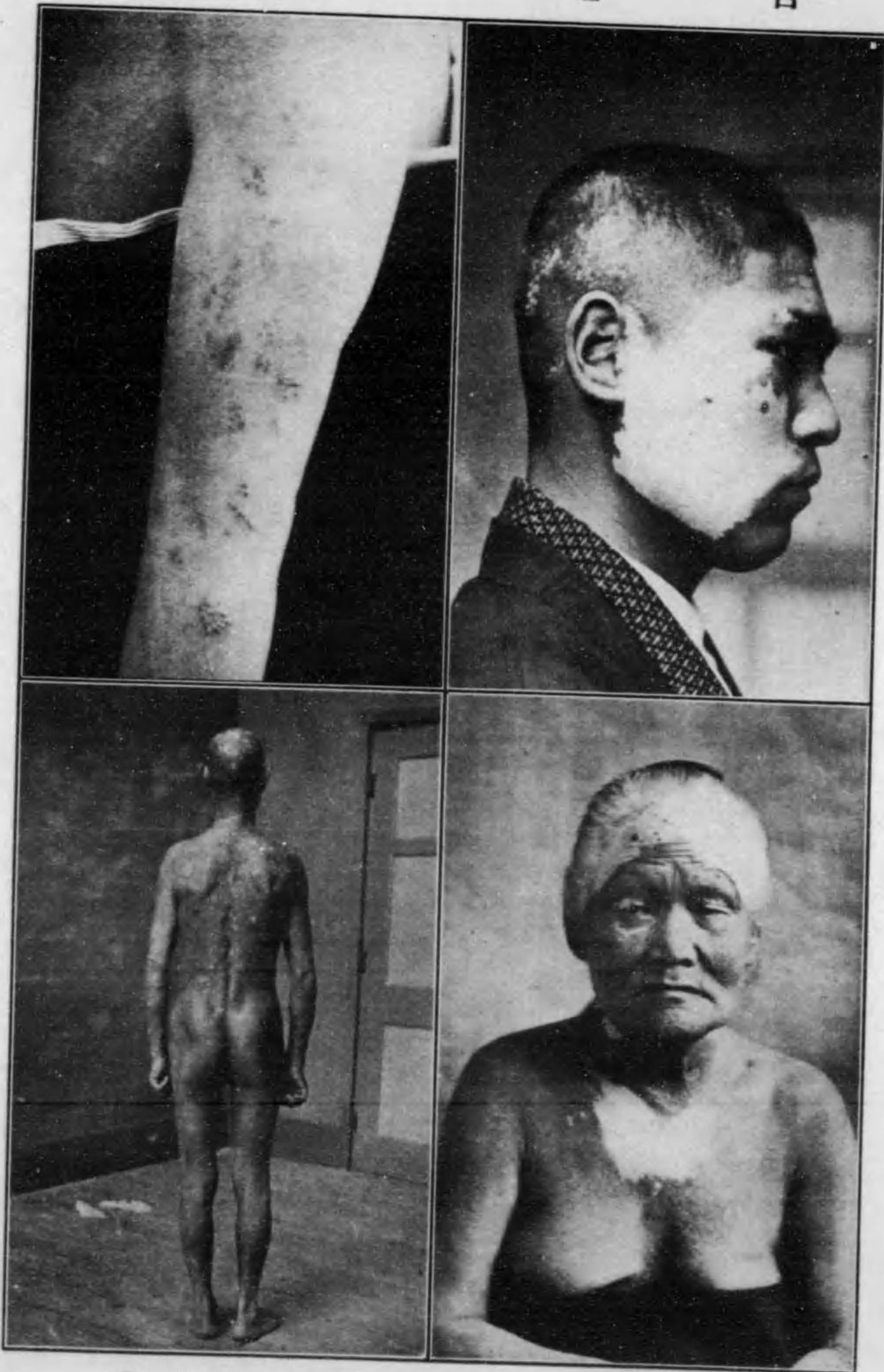
Ekzema marginatum
癬 頑

Herpes tonsurans capilliti
(疹行匍性生寄部頭) 癬 白

第七表

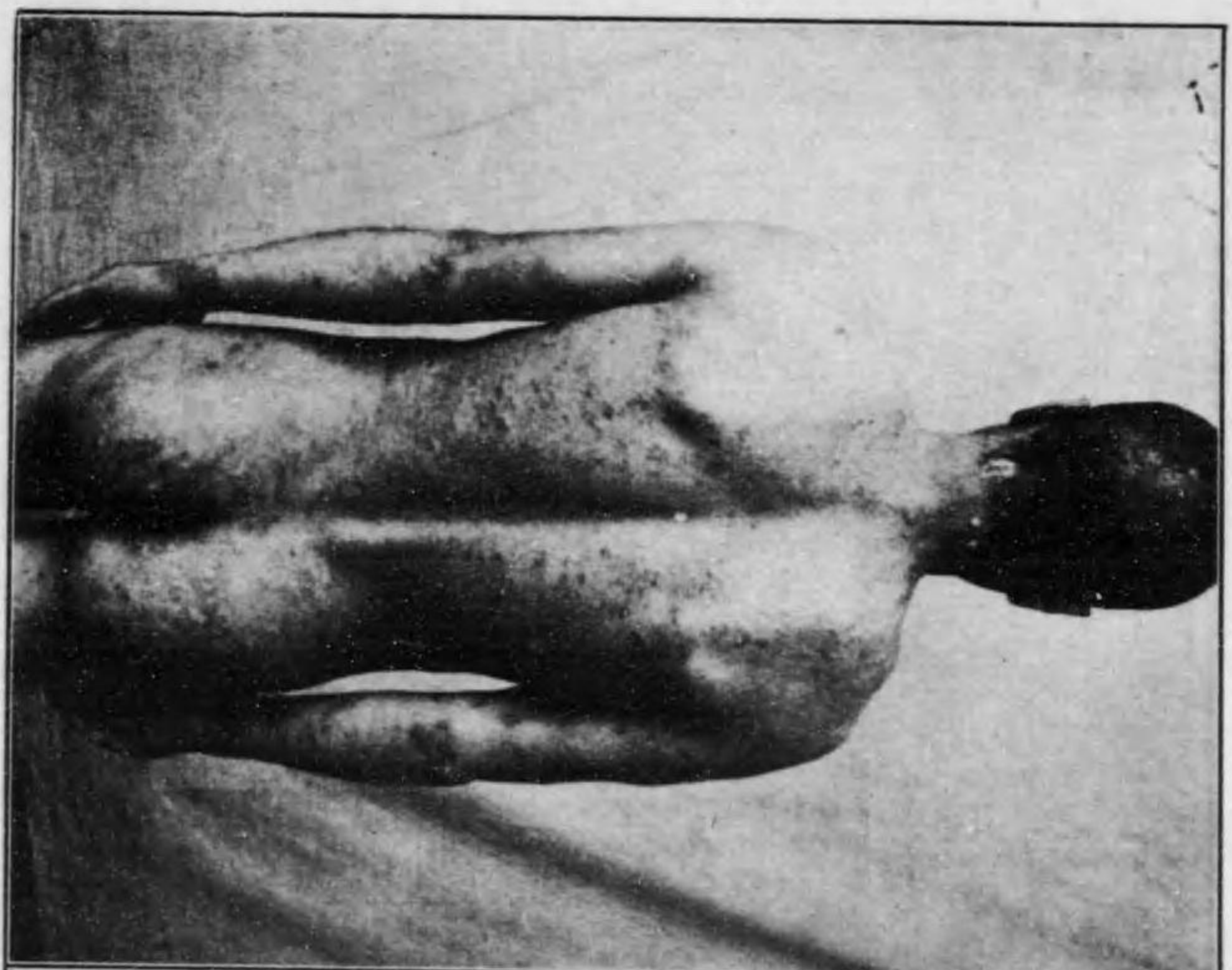
Herpes Zoster
疹行匐狀帶

Vitiligo vulgaris
斑白



Pemphigus pruliginosum
瘡疱性痒癢

Vitiligo vulgaris
斑白



癬

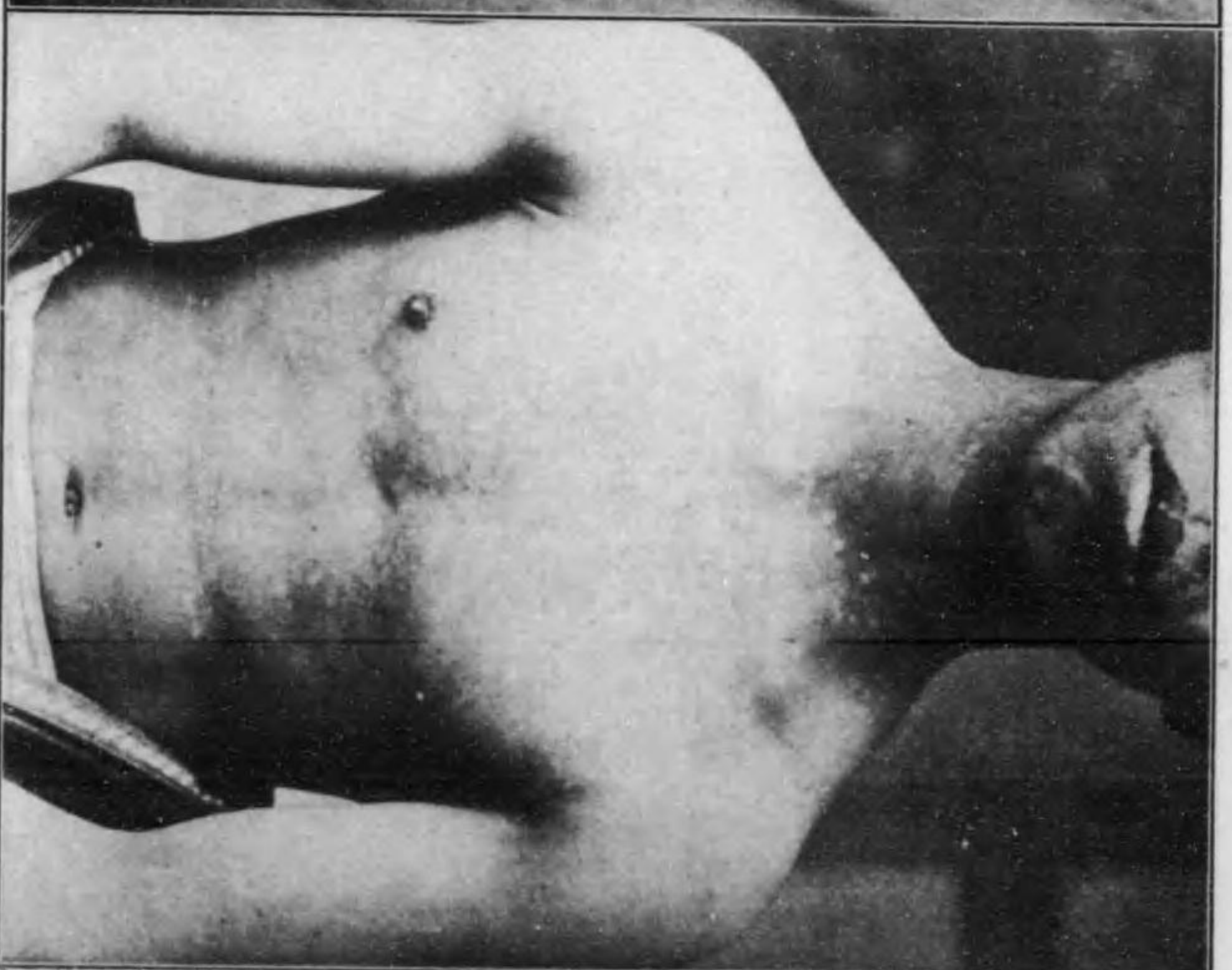
Scabies

疥

表

八

第



風

Pityriasis versicolor

癩

第九表

Erythema induratum (Bazin)
巴 薩 氏 結 硬 性 紅 斑



Lupus vulgaris
尋 常 性 狼 瘡



第十表

Lepra maculosum
癩紋斑



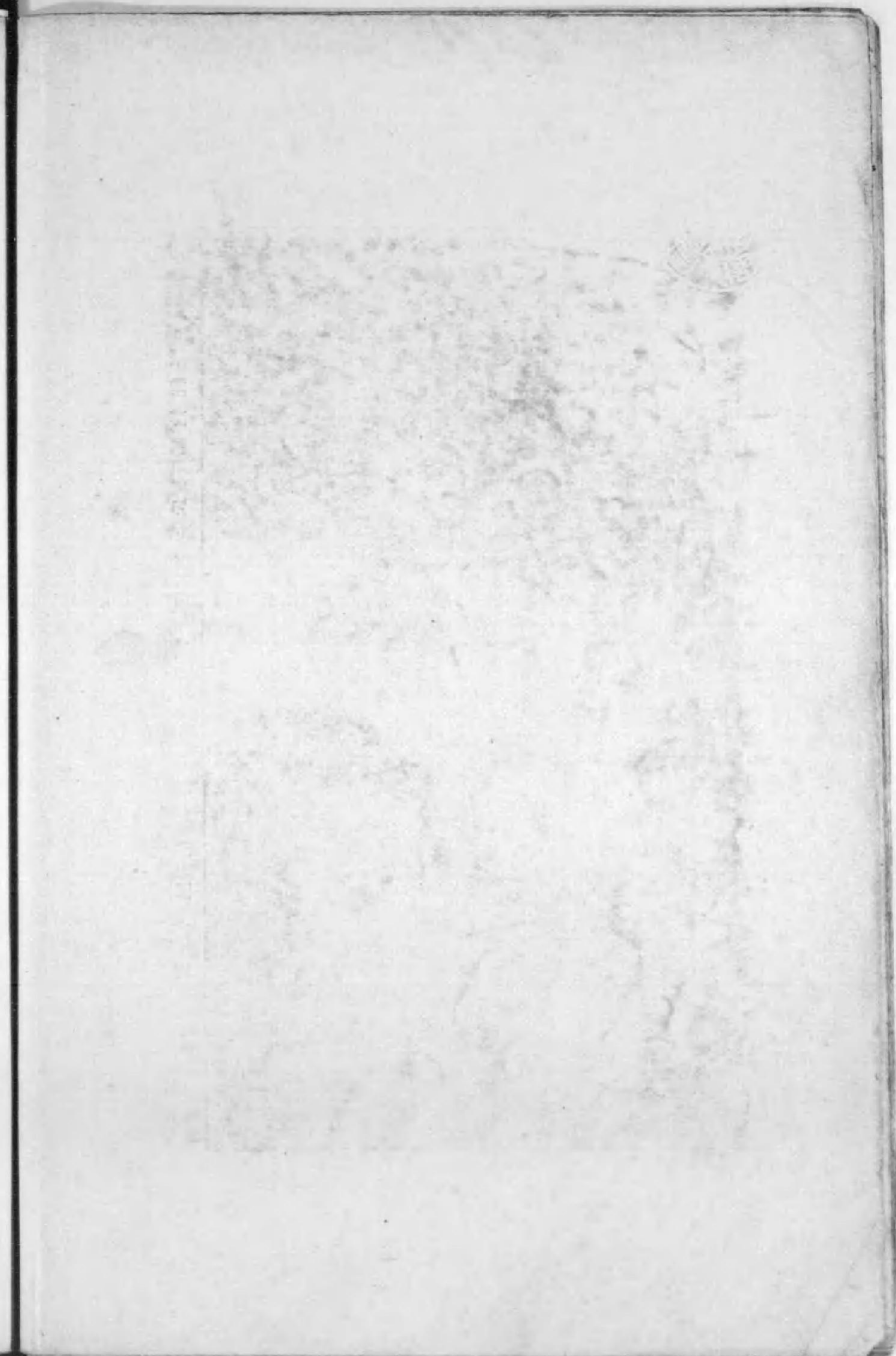
Lepra maculosum
癩紋斑



Lepra maculosum
癩紋斑



Lepra tuberosum
癩節結



大大明明明明明明
 治治治治治治治
 正正四四三三三三
 二二一十十十十十
 三三十一七五四四
 年年年年年年年年
 九九七六九十一十
 月月月月月月月月
 十二十廿廿廿廿
 五十六十三五五
 日日日日日日日日
 七七六五四三再發印
 版版版版版版版
 發印發發發發發
 行刷行行行行行刷



著者 著者 著者 著者
 發行 發行 發行 發行
 印刷 印刷 印刷 印刷
 所者者者者

皮膚病診斷奧附
 正價金四圓五十錢

山田 弘 倫

旭 憲 吉

東京市本郷區龍岡町三十四番地
 鈴木 幹 大

東京市本郷區湯島切通坂町五十一番地
 矢部 政 吉

右 矢部 政 吉
 正 全 部 所 文 舍
 (電話下谷 一三三〇番)

發兌
 大賣捌元

東京市本郷區龍岡町三十四番地
 振替貯金口座東京六三三八番
 東京市本郷區龍岡町三十六番地
 振替貯金口座東京一〇八三一番

南山堂書局
 朝陽堂書店
 (電話下谷 四一七八番)

SACHREGISTER.

	SEITE.		SEITE.
A			
Ablagerungen	2	Acnitis	435
Absolute Empfindungsvermögen	38	Acrosarcoma multiplex cutaneum teleangiectodes.	327
Acarus folliculorum	8, 244	Adenom	330
Achorion Schönleini	8, 482	— sebaceum	330
Achselhöhle	213	Adeps benzoatus.	57
Acidum aceticum	140	— suilli	56, 98
— camphoricum	110	— — Benzoatus.	98
— chromicum	142	Adstringentia	126
— cinnamylicum.	110	Aether	55, 488
— hydrochlor. crud, Rohe Salzsäure	108	Aethylchlorid.	104
— lacticum	141	Agaricinum	110
— nitricum	142	Ainhum	149
— tannicum	125	Airol	133
Acre-Kupferfinne	236	Akanthose	47
— cachecticorum	244, 435	Akantosis nigricans.	158
— confluens	244	Aktinomycose	418
— disseminata	244	Aktive Hyperämie	42, 265
— Färbungsmethode	325	Aktol	136
— indurata	243	Akute Exanthem	6
— keloid	236	Albinismus	43, 346
— miliaria	329	Albinismus universalis	346
— necrotica	255	— partialis	346
— picea	224, 244	Alkohol	55, 97
— pigmentosa	244	Allgemeine Aetiologie der Haut- krankheiten.	144
— punktata	243	— Diagnostik	48
— pustel	354	— Erscheinungen	226
— pustulosa	243	— Material	54
— rosacea	238, 252	— Pathologie	41
— syphilitica-Impetigo Syphilitica.	467	Alopecia	378, 341
— urticata.	255	— adonata.	398
— varioliformis	254, 321	— areata	378, 380
— vulgaris	243, 153	— atropicans, Pseudopelade	384
		— mycotica	378
		— — favosa	374

	SEITE.		SEITE.
Callus	296	Combustis—Verbrennungen	258
Camphora trite	105	Comedo, Metesses . 249, 234, 153, 244	
Cancer	6	— Färbemethode	5 5
Canclloid	330	— organismus	525
Cancrosa	5	Condylomata acuminata	324
Canities	348	— lata	465
Canthardin	136	Confert	50
Captol	120	Congelation, Erfrierung	258
Carbunkel	f, 266	— bullosa	261
Carcinom-Krebs	330	— Erythematous	260
— tuberosum	334	— Escharotica	261
Caustica	139	Compression	519
Central Atrophie	221	Consistenz	53
Cera alba	99	Consumption	226
— flava	99	Constitutionelle Erkrankungen	169
Cheiopompholyx	217, 152	Contrastwirkungen des Bildes	
Chloasma	43, 317, 315	Contraindikation	63, 292
— solare	317	Contusionsbeule	273
— toxicum	319	Coroplastica—Oberhäutungsmittel	132
— traumaticum	317	Corium—Lederhaut	15
— cuterium	317	Corua cu aneum, Hauthorn	299
Chlorallhydratum	120	Creolin	260
Chlorioblasten	12	Crustae	3
Chloroform	55, 17	— lactis	153
Chlorose	169, 155	Cuprum Sulfuricum	127
Choulmoogra	94	Cuticula	19
Chromhidrosis	390	Cutis	13, 15
Chromoradiometer	496	— marmorata	269
Chromsäure	108	Cyanose	269
Chronich-intermittierende Behand- lung	478		
Chronische Infektionskrankheiten der Haut	419	D	
Chrysarobin	129, 223	Dampfbäder	358
Circinär	50	Deckepithelfärbungsmethode	522
Clavus, Hühnerauge	297	Defaecationstherapie	70
Climakterium	308	Defilvium Capillorum	226
Cocain	104	Delle	211
Coldcrime	247	Der. ratitis	176
Colloidmilium	329	— calorica	215
		— exfoliativa	250

	SEITE.		SEITE.
— — acuta	227	Druckempfindungen	38
— — chronica	225	Drüsenbläschen	27
— — infantum	234	Drüsenschläuche	26
— herpetiformis	214, 877	Dunklen Wärmestrahlen	485
— lichenoides pruritus <i>Neisser</i>	233	Dunstschlag	55, 176
— nodularis necrotica	435	Durchbrechen der Haare durch die Hornschicht der Epidermis	26
— papillaris Capillitii (Acneloid)	235	Durchmesser der Fettzellen	23
— pellagrosa	287	— der Hautnerven	23
— polymorphe pruriginosa dolorosa	377	Dyshidrosis	217
— radiografica	216	Dyspepsie	245
— scarlatiniformis recidiva	227	Dystrophie	445
— simplex	11	Dystrophie papillaire et pigmentaire	302
— solaris	215		
— toxica	216	E	
Dermatol	125	Eccymosen	42
Dermatomycosis diffusa flexurarum	413	Ecthyma	4
— marginatum	407	— gangroenosa	439
Dermatoses eczematosa	4	— syphilitica	467
— haematosae	5	Efflorescenz	241
— Dyschromatosae	5	Eichenrinde	110
Dermographie	277	Einfettungsmittel	98, 235
Diarrhoen	263	Einwirkungen der Röntgenstrahlen auf die Haut	493
Diaskopisch: Untersuchung	52, 420	Eiterpunkt	266
Diätetik	72	Ekzema, Nässende Fläche	162, 46
Dicke der Daumennagels	25	— arcifcia	150
— — Knäuel	26	— anaemicum	413
— — Lederhaut	23	— Behandlungen der kleinen Kindern	198
— — Nage'matrix	25	— capillitii	165
— — Oberhaut	24	— chronicum infantici	153, 166, 196
— des Unterhautbindegewebes	22	— crustosum	163
Differentialdiagnose	172	— erythematous	162
Diffusionsbedingungen	29	— intertrigo	166, 386, 153
Dintenbäder	64	— loricum	171
Direkte Todesursache	226	— madidum	163
Direkten internen Therapie	72	— mammae idiopatica	166
Discition feiner Gefäße	61	— marginatum, Dermatomycosis	
Dispers	50		
Disposition	276		
Dosierung	96		
Druckatrophie	4 0		

	SEITE.		SEITE.
marg'natum	10, 172, 207	Epheliden	4, 43, 315, 311
— mercuriale	171	Epicarin	137
— papulatum	163	Epidermidon	11
— pediculis capitis	165	Epidermis	13
— pustulosum od. impetiginosum	163	Epide:moplastica, Mittel für	
— ragadiforme	166	Förderung der Ueberhornung	123
— sclophulosorum	169	Epidermolysis bullosa hereditaria	284
— scroti	167	Epidermin	103
— seborrhoicum	170, 182	Epidermoplastica	123
— solare	171	Epithelioma Adenoides cysticum	335
— squamosum	164, 179	— contagiosum	321
— sudamen	171	— molluscum	321
— sycosiforme	165, 256	Epithelregeneration	96
— tuberculatum	334	Epizoen	66
— tyloticum	167	Erfrierung	6
— universalis	227	Ergotin	174
— verrucosum	167	Erosion	360
— vesiculosum	183	Erworbene Bildungsfehler	7
Elastin	12	Erysipel	4, 172, 448
— färbungsmethode	319	— bullosum	449
Elastische Gewebe	16	— gangraenosum	449
Elektrische Licht	268	— migrans	419
Elektrolyse	62, 301, 314	— perstans	449
Elementarform einer mehrere	6	— pustulosum	449
Elephantiasis	318	— vesiculosum	449
— der Araber	8	Erythem	268, 35, 42, 4
— der Tropen	318	— annulare	271
— glabra	319	— bullosum	272
— groecorum	6	— caloricum	150
— papillaris	318	— exsudativum multiforme	271
— rostras	318, 449	— vesiculosus	272
— verrucosa	318	— figuratum	271
Emanation	504	— fugax	268
Empfindungsvermögen	38	— induratum <i>Bazin</i>	436
Emplasterum mercuriale	475	— infektiös um seu Kontagiosum	275
Endemische Beule	333	— iracundiae	268
Englische Coldcrime	247	— morbis internis	269
Entfettungsmittel	97	— multiforme	213
Entzündungen	5	— nodosum	272
Entzündliche Dermatosen	162	— neonatrum	235, 268

	SEITE.		SEITE.
— papulatum	271	— butterartige	56
— photoelectricum	150	— talgartige	56
— psychicum	268	— wachsartige	56
— pudicitiae	268	— polster	39
— scalatiniforme	288	— salben	57
— simplex	268	Färbungsmethode	521
— solare	171, 268, 486, 149, 140	Feuchte Umschläge	183
— traumaticum	268	Fibron	320
— urticatus	272	— Molluscum	320
— venenis	269	Fieberhafte Ausschläge	4
Erythrasma	412	Filaria	7
Erythromelalgie	155, 270	Filmogen	103
Eucaïn	104	Fingern	217
Eudermol	139	Finsen-Reyn-Apparat	491
Eugallol	131	Finsenapparat und die Methode	
Europen	133, 260	ihrer Anwendung	489
Exanthem	2	Finsentherapie	485
— aticae	4	Firnisse	58
Exanthematischer Typus	458	Fischschuppenkrankheiten	293
Excitantia	259	Fissurale Naevi <i>Virchow</i>	313
Excoriation	42, 46	Flechtenartige Ausschläge	5
— universalis	62	Fleck	42
Excrecentiae cutanac	3	Flecktyphus	458
Exstivipation	253	Fluorescenzerregung	993
Exsudationes	9	Foetalen Ichthyosis	294
Externe Behandlung	54	Foetor ex ore	375
— Ursache	170	Folliculis	435
		Folliculitiden	393
		Folliculitis exulcerans	435
		— unche sclerotisans	216
		Follikelhals	21
		Form	52
		Formalin	107
		Fowleri	174
		Frambaesia	325
		Fremdkörper an der Oberfläche	
		der Haut	7
		Frostbeulen—Perniones	260
		Frosten	220
		Frottieren	359

F

Facies leontiasis	444
Falsche Keloid	340
— Narbe	340, 323
Faradisation	382
Farbe	48, 51
Farbenwechsel der Haare	349
Favus	6, 8, 400
Favuspilz	400
Ferrichthylol	88
Fett	56

	SEITE.		SEITE.
Frunkel—Blutschwär	235, 263	Guberwasser	84
Frunkulose	6, 263, 264	Gummöses Syphilid.	468
Funktionsstörungen	362	Gurjunbalsam	94
Fusssole	217	Gynäkologische Leiden	239
		Gyratus	50

G

Galvanokaustik	61
Gangraenöse	6
Gangrena cutis multiplex cachectica	439
Gastro-intestinale Störungen	288
Gelanthum	12
Gelatino zinci	102
— braun	49
Gelenkentzündungen	274
Genitalnervkörperchen	24
Genitocruralfalte	167
Geschichte der Hautkrankheiten	1
Geschwülste	236
— der Haut	320
Geschwür	42, 47, 235, 366
Gesichtsrose	418
Gewerbeekzem	167, 186
Gewerbekrankheiten.	152
Gewöhnliche Wasserbad	62
Glans penis	229
Glanzhaut	386
Glashaut	20
Glatte Muskeln	16
Glossy Skin—Glanzhaut	386
Glycerin	55
Granoplasma	12, 513
Granuloma fungoideus <i>Alibert</i>	337
Gravidität	169
Grösse	52
Grossfleckenkrankheit	275
Grossmaculöse Syphilid	462, 463
Grosspapulöse Syphilid	463
Grösster Durchmesser der Fettzellen	23
Gruppierung	53

H

Haarbalge	26, 308
Haarbalgdrüsen	31
Haare—Pili	19
— Krankheiten	7
Haarfollikel	434
Haarpapille	26
Haarrinde	19
Haarsackmilbe	8
Haarströme	19
Haarwasser	388
Haarwuchs	308
Haarwürzel	20
Habituelle Erysipelas	449
Haematogene jucken	147
Haemorrhagien	7, 261
Haemorrhagiae cutanae	9
Haemorrhagische Dermatosen	11
Hals	42
Hämhidrosis	390
Hammeltalg	56
Hämorrhoid	371
Handteller	217
Hauptausführungsgänge	27
Haut	13
— als Sinnesorgan	36
Hautanomalien	460
Hautathmung	29
Hautexantheme der akuten Infek-	
tionskrankheiten	448
Hautfelderung	48
Hautfurchen	297
Hauthorn	299

	SEITE.		SEITE.
Hautsekretion	30	Höhe der Papillen	23
Hautalg	31	Hordeolum	6
Hefepilzen	417	Hornorganismen	526
Heftpflaster	351	Hornplättchen	25
Heissbäder	183	Hornschicht	25, 296
— Wasserumschläge	183	Hornschichtlösende Mittel	126
Heissluftapparat	61	— Verdickung	221
Heisslufttherapie	61	Hornzellen	523
Henle'sche Schicht	21	Hühnerauge	298
Herpeticae	5	Humoralpathologische Periode	1
Herpes	359	Hundmensch	308
— circinatus	272	Huxley'sche Schicht	21
— faciae	172	Hyalindegenerierte Bindegewebs-	
— iris	213, 272	zellen	517, 516
— labialis	361	Hydraderom	336
— progenitalis	361	Hydrargyrumpräparate	143
— pyaemicus	212	Hydrargyrum Oxydatum flavum	121
— tonsurans	402	— praecipitatum album	120
— — capillitii	404	— sazojodolicum	476
— — maculosus	172, 222, 402	Hydroa vacciniforme	214, 149
— — vesiculosus	402	Hydroa aestivale	214
— vegetans	213	Hyperämia, Paralytische und	
— zoster	359, 157	atonische	268
— — bullosum	35	— mechanische passive	268
— — cervicobrachialis	360	Hygienische Fruktifizierung	13
— — cervicosubculavicularis	360	Hyperaemia cutanae	9
— — facialis	360	Hyperhidrosis	386, 154, 284
— — gangraenosus	260	— axillaris	384
— — haemorrhagica	360	— genitalium	387
— — occipito-collis	360	— pedum	387
— — ophthalmicus	360	— volae mani	388
— — pectoralis	30	Hyperkeratose	47
Hervorbrechen	2	Hyperpigmentation universalis	314
Heterochronie	107	Hyperplasie	47
Heterogene Hypertrichosis	307	Hypertrichosis aequisitas	307, 308
Heterotopie	308	— universalis	308
— localis	308	Hypertrichosis heteroplastica localis	308
Histotechnik	510	Hypertrophiae	9, 47
Hitzeinwirkung	487	— der Nägel, Onychoauxis	309
		— des Pigmentes	312

	SEITE.		SEITE.
Hysterie	349	— Sekretion	157
		— Ursache	168
I		Insecta cutanae	3
Ichthform	134	Interrae medicamente	174
Ichthalbin	88	Interpapilläre Furchen	15
Ichthyol	88, 118, 175	Intertrigo der Kindern	188
Ichthyosis	293	Intraepidermoidale	44
— intra uterine od. foetale	294	Intramusculär	475
— congenita	294	Intrauterine od. foetalen Ichthyosis	294
— hystrix	293	Itrol	136
— localis	294		
— nitida	293	J	
— scutulata <i>Schönleinii</i>	293	Jod	143
— sebacea	259	Jodacne	251, 244
— serpentina	293	Jodeigon	133
— simplex	293	Jodform	133
Idioneurosen	11	Jodormal	133
— Hautatrophie	339	Jodformin	133
Idiopatische Pigmentschwund	470	Jodformogen	133
— Hautatrophie	339	Jodtyrin	96
— multiple Pigmentsarcom	328	Jucken	145, 183
Idiosyncrasie	174, 285	— oder nicht	50
Impetigo	4, 6, 207	Juckstillendes-Mittel	103, 372
— contagiosa	208		
— — circinata	209	K	
— gangroenösum	439	Kali Carbonatum	97
— herpetiformis	212	— causticum	142
— simplex	210	Kalihpermanganicum	136
— staphylogenes albus	209	Kaliumpermanganarbader	136
— streptogenes	209	Kaliumsulfuratum	115, 122
— vulgaris	209	Kalte Douche	63
Incubationszeit	211	Kältepunkt	36
Indirekte interne Behandlung	68	Karbolsäure	105
Individuelle Empfindlichkeit der		Kathodenstrahlen	308, 493
Haut	96	Keimschicht	14
Injektion	264	Kelatolytisch	96
Innere Behandlung	66	Keloid	48, 322
— Fläche des Oberschenkels	213		
— Leiden	174		

	SEITE.		SEITE.
Keratoma palmare et plantare		Krause'sche Körperchen	19, 36
hereditarium	293, 297	Krebsartige Hautaffektion	5
Keratolytica — Hornschichtlösende		Krebsgeschwür	33
Mittel	121, 178, 175	Kreolin	135
Keratoplastische Mittel	106, 178	Kreosot	141
Keratosis follicularis	43	Krusta lactis	166, 196
— — Vegetans <i>Darier</i>	304	Kruste	42, 46
— nigricans	302	Kummerfeld'sche Waschwasser	247
— pilaris	291, 295	Kumulative Wirkung	494
Kerion celsi	405	Kupferfinne	252
Kleiebäder	62	Kuprum sulfuricum	127
Kleincentrale Delle	208	Kutol	129
Kleinmaculöse Syphilid	462		
Kleipapulöse Syphilid	466	L	
Kleinpustulöse Syphilid	464	Laiomyom	324, 325
Knorpelhart	470	Länge der Drüsenausführungsgänge	26
Knoten	42, 44, 170	Langhaare	19, 25
Knotensyphilid	468	Längsdurchmesser der Zellen der	
Kokken	66	Keimschicht	25
Kollagen	12	Lanolin	56, 57, 98
Kongestionen	7	Lanolincreme	247
Kontrastfärbung	516	Lanolin pasta	177
Kopfrase	449	Laus	165
Kopfschmerz	288	Lavia	319
Kopfwasser	56	L-berthran	98, 174
Körpertemperatur	57	Lecithin	495
Körnerzellen	14	Lederhaut	15
Kräftige Ernährung	227	Leichentuberkel	429
Krampfhafe Kontraktion	290	Leim	58
Kraterförmig	470	Leimbäder	66
Kratzaffektion	336	Leinöl	99
Krätze	392	Leistungen der Haut in Bezug auf	
Krätzekezema	151, 171, 370	die Wärmeökonomie des Körpers	34
Krätzmilbe	392	Lenicet	128
Krankhafte Sekretion	7	Lenigallol	126
— Veränderung der mit der Haut		Lentiginos	315, 149, 311
zusammenhängenden Gebilde	7	Lepra	443, 149, 6, 4
— Beschaffenheit der Nägel	7	— maculosa	444
Krankhafte Zustände des lymphatis-		— mutilans	445
chen Systems	157		

	SEITE.		SEITE.
— nervorum	445	Gangrän	289
— tuberosum	444	— Behandlung akuter Ekzema	175
Lepröse	5	— — bei chron. Ekzema	179
Leucoderma leprosum	347	Lokalisationsvermögen	38
— syphilitica	347, 470	Lokalisation	50, 12
Leukaemia cutis	336	Lokalsynkopie	220
Leukaemie	169	Lösung	55
Leukopathie	346	Luft	175
— unguium	351	Lunula	22, 220
Leuzin	250	Lupus	4, 6
Levico	84	— disseminatus	422
Lichen	2, 8, 6, 4	— erythematous	172, 221, 352
— lividus	4, 4	— — aggregatus	352
— obtusus	229	— — corneus	352
— pilaris	44, 293, 295	— — discoides	352
— ruber	22, 228	— — disseminatus od. aggregatus	352
Lichen ruber acuminatus	230, 228	— exfoliativa	421
— — moniliformis	229	— exulcerans	421
— — obtusus	229	— frambesiodes	421
— — pemphigoides	229	— hypertrophicus tumidus	420
— — planus	228, 149	— incipiens	420
— — sclerosus	250	— maculosus od. incipiens	420
— — verrucosus	229	— papillaris	420
— scrophulosorum	230, 434	— seborrhoicus	352
— simplex chronicus <i>Vidal</i>	233	— serpigiosa	421
— syphiliticus	466	— verrucosus papillaris	420, 429
— urticatus	277, 363	— vulgaris	419
Lichtquellen	485	Lymphangioma cavernosum	324
Lichtscheu	346	— simplex	334
Linimentum	59, 103	— tuberosum multiplex	334
Liedermia neuritica	386	Lymphgefäße	18
Liquor antihydrorrhoeicus	359	Lymphodermia perniciosa	336
— Buronii	176	Lymphorrhoe	319
— ferr. Sesquichlorati	108	Lypom	335
— plumbi	127	Lysol	136
— — Subacetici Solutus	127		
Liquor stibii Chlorati	141	M	
Lokalanaesthetica	103	Maceration	386
Lokalbad	64	Maculae	342
Lokale Asphyxie u. Symmetrische			

	SEITE.		SEITE.
— et. striae atrophicae	340	Milbengang	173, 364
Maculo-papulöse Syphilid	463	Milchcruste	166
Maderosis	381	Miliare Tuberkulose der Haut	431
Madurafuss	146, 416	Miliaria	386, 387, 6, 4
Magalerythema epidemicum	275	— alba	387
Magnesia carbonica	111	— rubra	387
Makrochilie	334	Milium	24, 329
Makroglosie	334	Milzbrand	442
Mailcus—Rotz	441	Missbildung	341
Malpeghi'sche Schichte (Rete mucosum, die Stachelschichte, die Keimschichte, Stratum germinativum)	14	Mittel gegen Hyperhidrosis, Antihydrorrhoeica	107
Mandelöl	99	Mittel gegen Seborrhoe	113
Masern	445	Molluscum	4
Maskenartig	185	— contagiosum	328
Massage	61, 290	— körperchen	321, 330
Matrix	351	— pendulum	320
Mechanische passive Hyperaemie (Cyanose)	269	— sebaceum	321
— Therapie	61	— verrucosum	32
Medikament	175, 96	Morbi pilorum	3
Medikamentös	72	— unguium	3
Medikamentöse Behandlung	81	Morbili	455
Meibom'sche Drüsen	31	— confluentes	456
Meissner'sche Tastkörperchen	19	— papulosis	456
Melanoderma cachecticum	315	— vesiculosis	456
Melanotische Sarcom	327, 328	Morbus maculosus <i>Werhofii</i>	291
Menge der Knäueldrüsen	26	Morpio	398
Meningitis	450	Multiple beerschwammartige Papillargeschwülste	3, 7
Menthol	104	Multiple Frunkel	264
Mentholbäder	62	— Keloid	323
Merkel'sche Zellen	19	Mycosis fungoidea	337, 381
Metesser	249	Mycotoma pedis—Madurafuss	148, 416
Mikrobrenner	61	Mykosen	12
Mikroorganismen	170	Myom	325
Mikroskopische Analyse	510	Myxaödem	320
Mikrosporon Audovini	8, 405	N	
— furfur	482	Nachkrankheiten	235
— minutissimum	8, 482	Nackenkeloid	236

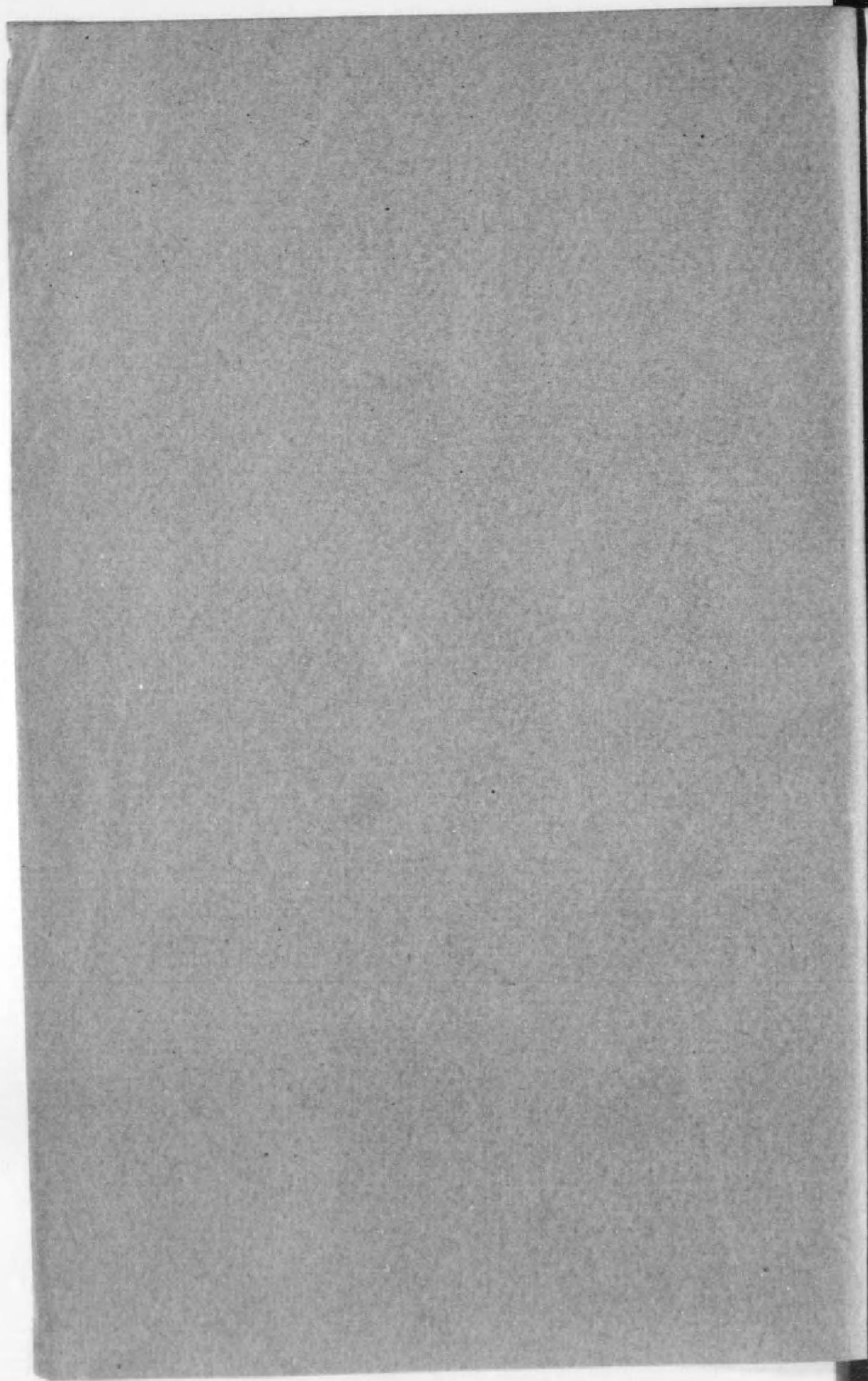
	SEITE.		SEITE.
Naevus	312, 4	Nicht pigmentierte	336
— flammeus-Feuermal.	333	Nicotianseife	138
— moluskiformis	320	Nirvanin	104
— naevi	313	Nissen	185
— pigmentosus	312	Niveau	52
— piliferus.	312	Noma	440
— prominens	333	Noduil laguati	344
— spili	313	Nosocomialgangrän	440
— teleangiectades	333	Nosophon	133
— vasculosus	312, 314	Nystigmus.	346
— — cavernosum	314		
— — simplex	314	O	
— verrucosus	312	Oberfläche	52
Naftalan	126	Oberhaut—Epidermis	13
Nagel	21	Obstipation	239
Nagelkörper	21	Oedema Cutis circumscriptum	
Nagelmatrix	22	acutum	83, 282, 149
Nagelwulzen	21	Oedematösen Hof.	273
Nähnadel	62	Ol	55
Namen von Material	57	— — Amygdalarum dulcium	56, 99
Naphtho'salbe	224	— jecoris aselli—Leberthran	56, 98
Narbe	42, 47	— lini	56, 99
Naphtalin	136	— olivarum, Olivenöl	56, 99
Naphtol β.	136	— ricini	56, 99
Nasenöffnung	185	— sesami	99
Nasenpolyp	446	Onychia sicca	471
Nässende Fleche	46, 162	— syphilitica	471
— Papel	465	Onychoauxis	39, 471
Natrium Carbonatum	97	Onychogryphosis.	308
— Carbonicum crudum	123	Onychomycosis favosa	400
Natron bicarbonicum	120	Orthoform	104
Nekrotische Gewebepfropf	263	Ortsinn oder Raumsinn der Haut	38
Negative pol	62	Osmhidrosis	390
Neoplasma, Neubildungen.	9	Oxyuris	370
Nerven	18		
Nervennaevi	320	P	
Nervenendkolben	24	Pacinische od. Vatersche Körper-	
Neuralgie	349	chen	19, 24
Neuroses	7, 10		
Neurotische Dermatosen	359		

	SEITE.		SEITE.
Paget'sche Ekzema	166, 331	— vulgaris.	173, 374
Papel, Papulöse	6, 41, 43, 228	Penis	319
Papillom	324	Percutan	474
Papulae	3	Perifolliculäre Phlegmone	263
Papulöse Syphilid	496	Periode der grossen Systembildung	2
Papuro-maculöse Syphilid.	463	Permanents Bad	61
Papuro-pustulöse Tuberculid.	435	Permitterartig.	293
Paquelen	254	Perniones	150
— sche Thermokauter	61	Pernis Ulcerans	260
Paraffinum	100	Pernol	138
Parakeratose	47, 487	Peruskabin	138
Parasitär	9, 170	Petechialtyphus	458
Parasitäre Dermatosen	392	Pellagra	287
Parästhesie	145, 381	Petroleum	139, 185
Paronichil	309	Pflanzliche Parasiten	400
Paronichia syphilitica	476	Pflaster	58
Parhidrosis	390	Phosphorpraeparat	174
Pars papillaris	15	Photodynamische Krankheit	289
— reticularis	15	Phthirus inguinalis	398
Pasta	58, 176	Phyma	44
Passive Hyperämie	269	Physikalische Eigenschaften der	
Pasta oryza Yamada	59	Radium	504
Pastensiften	58	Physiologie der Haut	27
Pediculosis	151	Physiologische Daten	40
— pubicum	398	Piedra	414
Pediculus Capitis.	135, 399	Piedra nostras	414
Pediculus vestimenti-Kleiderlaus	398	Pigmentatrophie, Symptomatisch	347
Pelade Pseudotonsurans	378	Pigmentmal	43, 347
Pellogra	6	Pigmentflecke	244
Pemphigus	372	Pigmentierung.	229
— acutus	217, 373	Pigmentsyphilis	470
— — Contagiosus neonotorum	373	Pigmenterstöngsmittel	142
— circinatus	213	Pili	19
— foliaceus	226, 374	Pili annulati	346
— leprosum	446	Pili moniliformis	345
— malignus acutus	374	Pityriasis	346
— neonotorum	209	— facii	239
— pruriginosus	375	— rubra Hebra	226
— syphiliticus	467, 474	— — pilaris	231, 232
— vegetans	375	— tabescentium	239

	SEITE.		SEITE.
Sapo kalinus	123	Schwefel	114
Sapolan.	127	— bäder	62
Sapo Viridis	60, 122	— blumen	114
Sarcom.	327	— leber	115
Sazojodol	133	— milch	114
Scabies-Krätze	173, 392, 151, 5, 4, 6	— mischung	246
— crustosa	393	— pasta	241
— impetigiosum	393	— präparate	113
Scabiosae	5	— resorcin pasta	186
Scalpel	61	— salbe-Naphtol	246
Scarification	253	— seifenspiritus	246
Scarlatina	457	Schweisssekretion	293
— miliaris	457	Schweissdrüsen	22, 32
— papulosa	457	Schwiele	151, 167, 297
— variogata	458	Schwindel	288
— sine exantheme	458	Schwitzen	387
Schälpaste	186, 253	Scirröse Schrumpfung	332
Schälung der Haut	181	Sclerema neonatorum	358
Scharlach	457	Sclerodactylie	357
— friessend	457	Sclerodermie	43, 356
Schaumzellen	514	Scrofulosae	5
Schema für die Untersuchung	52	Scrophuloderma	430
Schimmelpilz	66	— papulosum	434
Schleimpapier	465	— pustulosum	244, 434
Schmerzempfindungen	39	— ulcerosum	422
Schmierkur	475	Scrophulöse Aussehen	169
Schminken	248	Scrotum	319
Schminkpulver	248	Seborrhoe	195
— roter	248	— capitis, Schmeerfluss	237, 165, 153, 238, 228
— weisses	248	— am Kopf und Thorax	182
Schminksalbe	248	— congenita	352
— roter	248	— congestiva	239, 352
Schmutz, unbelebt	7	— der Kinder	195
Schnelle Abtrocknung	55	— diffusa	222
Schrunden	166	— facii	238
Schuppen	42, 47	— leosa	238
— zerriebene	524	— sicca od. furfuracea od. Pityroides	238
Schützmittel	98	Secundäre	41
Schwarz	49	— Effloreszenzen	42, 46
— Blattern	454		

	SEITE.		SEITE.
Secretionsstörungen und einfache Entzündungsprozessen der Talgdrüsen	237	— ekzematosum	337
Seife	60, 175, 123	— erythematopapulosum	182
Senkungsfrüchten	15	— erythematosum	258
Sensibilitaet	53	— lichenoides	337
Silber	136	— madidans	183
Sitz	53	— mycoticum	337
— bad	389	— necroticum	258
Sitzungsdauer der Röntgenstrahlen	498	— papulo-vesiculosum	183
Smegma praepatii	31	— squamosum	184
Sol, arsenicosum	174	Stagnirende Hautsekretion	175
Solitär	50	Stauung	42, 260
Sommerprurigo	147	Stauungsdermatosen	11
Sommersprossen	149	Stecknadelkopfgross	216
Sonderbehandlung bei einzelnen Körperteile	184	Stichelung	71, 427
Sonne	485	Stiel	320
— Bogenlicht	485	Stillstand	29
Sonnen Verbrand	486	Stratum corneum	14
— Wirkung auf die Haut	486	— germinativum	14
Spaltpilze	527, 524	— Malpighii	24
— Färbungsmethode	527	— Subcutaneum, Subcutis, Unterhautbindegewebe	15
Spindelhaare	245	Streptococcus erysipelatis	448
Spiritus	97	Streifenförmige Blutung	42
— sapo Kalinus	61	Striae gravidarum	340
Spitzpocken	451	— atrophicae	340
Spongioplasma	514	Strophlus	4, 6
Sporotorichose	418	Styrax	138
Sporotorichum cutare gummosa	418	Subcutis	16
— de Beurmanni	418	Subcutane Injektion	175, 475
— Tuberkulose lokalisiert und systematisiert	419	Subepidermoidale	44
— coccoides	419	Sublimat	135
Spray	55	Sublimatbäder	264, 475
Squamae, Squamöse	3, 5	— carbol-salbe	231
Squamöse Syphilid	462	Sublimatessig	185
Stachelschicht	14	— pastillen	475
Stadium bullosum	258, 183	Subjektive Empfindung	54
— crustosum	183	Subpapillares Netz	17
		Succus Citri	105
		Sudamina	386, 387
		— miliaria	153

	SEITE.		SEITE.
— miliaris	454	Wärmepunkt	36
— verrucosa	454	Wasser	54
Vaselin	57, 100	Wasserdampf	29
Vasenol	100	Wasserpocken	451
Vasoconstriction	260	Wasserstoffsperoxyd	143
Vasodilatation	260	Weinsteinsäure	109
Vasogene	100	Weisses Pulver	248
Vasol	100	Weisses Schminkepulver	248
Vater'sche Körperchen	19	Wichtige pathologische Verände- rungen	188
Verbrennung	6	Windpocken	451
Verdauungsstörungen	169	Wollhaare	19, 26
Vergleichungsscheina von Akne- knoten, Psoriasis und Syphilis- papeln	222		
Verkalken	320	X	
Verknöchern	320	Xanthe'asma	326
Verruca—Warze	310	Xanthom	43, 326, 156
— disseminatae	501	— planum	326
— necrogenica	429	— tuberosum	326
— planae juveniles	302	Xeroderma pigmentosum	310
— senilis seborrhoica	301	Xeroform	126
Verschiedenen Härtegrade der Röhre	498	Xerosis	242
Vesiculae	3, 44, 6	— conjunctivae	311
Venen	17		
Vitiligo	43, 315	Z	
— syphilitica	470	Zahnfleisch	213
Vitiligoidea	326	Zahndefekt	308
Vulvea cutanea	3	Zehen	217
W		Zerklüftung	301
Wachsartige Fette	56	Zerstörungsmittel	139
— glänzend	222	Zinkleim	58, 102, 127
Wahre Keloid	223	Zinkpasta	211
Waldmensch	308	Zincum chloratum	141
Wallrath	56	Zincum Oxydatum	111, 127
Warze	167	Zoster	4
Wärmeökonomie	34	Zirkulationsstörungen der Haut	268
		Zustände der Haut	96



57
5=

終